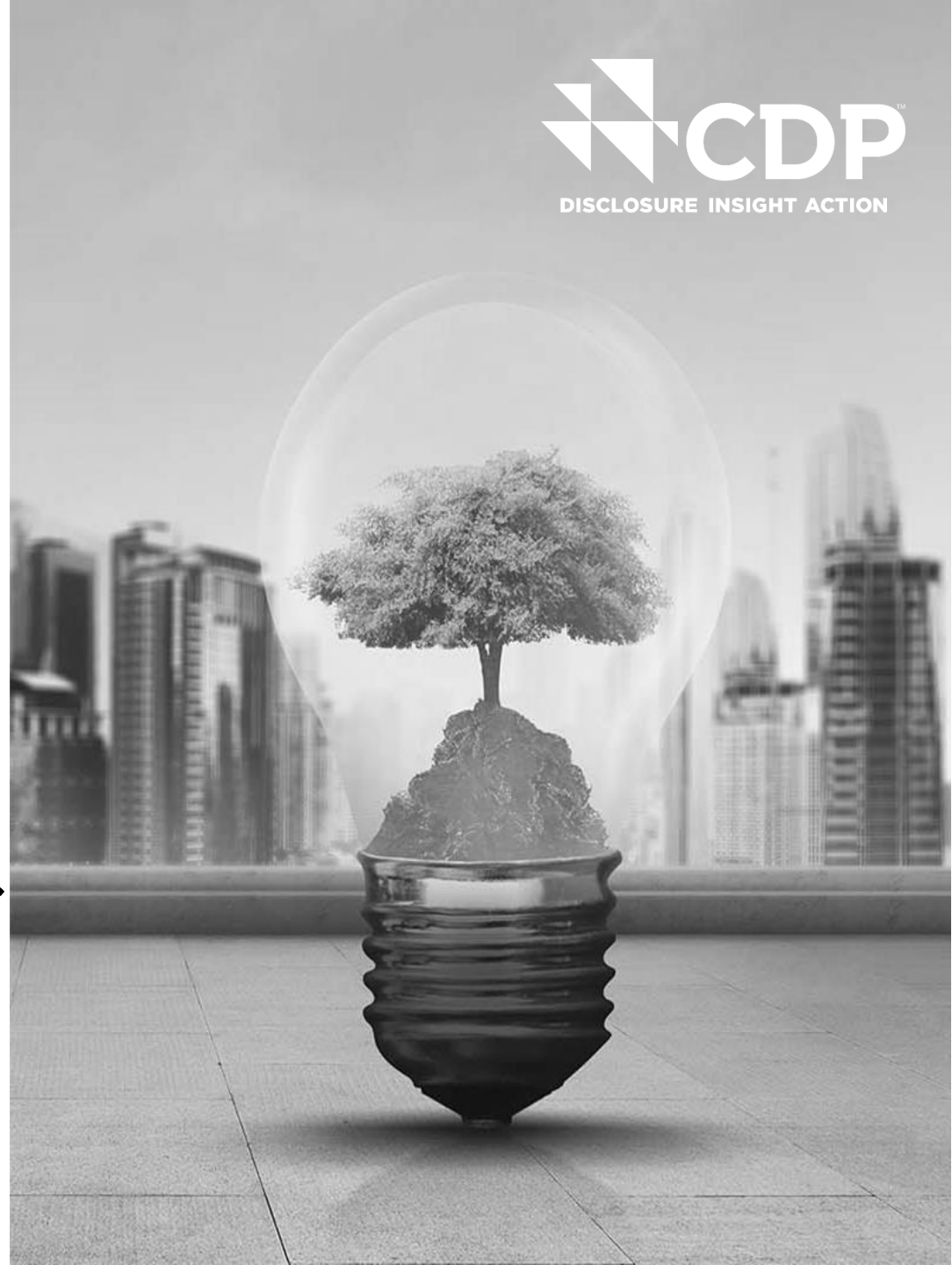


CDP水セキュリティ2022 詳細編ウェビナー Ver2.0

2022年6月8日作成
CDP Worldwide-Japan

留意事項

- ▼ 本ウェビナーでは、全セクターの企業に関連する主要な変更点についても取り上げています。軽微な変更点やセクター固有質問での評価基準の変更点については、こちらの資料をご確認ください。
- ▼ 質問書のガイダンス及びスコアリング基準は、最新のベストプラクティスの反映や、回答データの質の向上等を目的として、開示サイクルの途中で更新される場合がございます。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくはwww.cdp.netのオフィシャルガイダンスをご参照ください



スコアリングの概要

※詳細はスコアリングイントロダクション資料をご覧ください

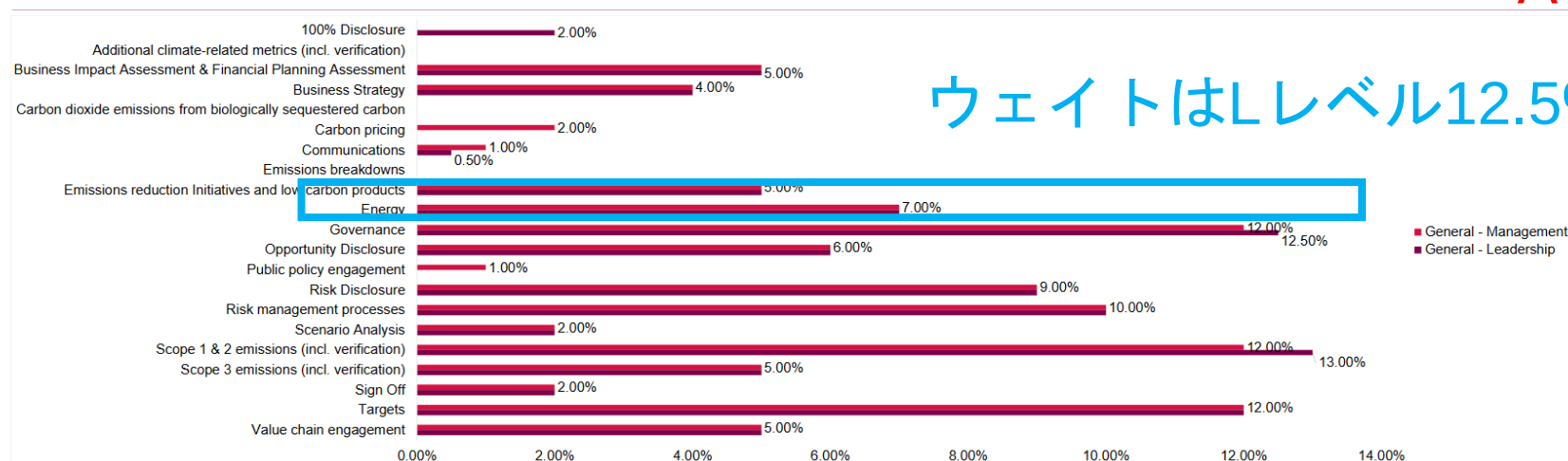


- カテゴリごとに合計分子/合計分母にて%を出し、これにウェイトをかけて、全カテゴリを足し合わせます。
- マネジメントレベルとリーダーシップレベルは、ウェイト付けがされて最終スコアが決まります。

General scoring categories: Ma						
Module	Scoring Category	Question Number	D	A	M	L
Introduction	100% Disclosure points	C0.1				
	Not scored	C0.2	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X
Governance	Governance	C1.1	✓	✓	X	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓
		C1.1b	✓	✓	✓	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓
		C1.2	✓	✓	✓	✓
		C1.2a	✓	✓	✓	X
		C1.3	✓	✓	✓	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.1	✓	✓	X	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓
Risks and opportunities	Risk management processes	C2.2a	✓	✓	✓	✓
		C2.2b	✓	✓	✓	X
		C2.2c	✓	✓	✓	✓
		C2.2d	✓	✓	✓	✓
		C2.2e	✓	✓	✓	✓
	Risk Disclosure	C2.3	✓	X	X	X
		C2.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.3b	✓	✓	✓	✓
	Opportunity Disclosure	C2.4				
		C2.4a	✓	X	X	X
		C2.4b	✓	✓	✓	✓

Governanceカテゴリ

リーダーシップレベル：
$$\frac{\text{sum(C1.1の得点} + \dots + \text{C1.3aの得点)}}{\text{sum(C1.1の分母} + \dots + \text{C1.3aの分母)}} = A\%$$



ウェイトはLレベル12.5%

Governanceの得点（満点は12.5%）
A%X12.5%

全カテゴリの同様の数値を
足し合わせる（満点100%）

水セキュリティ投資家要請質問書のモジュール構成



2022 モジュール	主な内容
W0 イン트로ダクション	会社の概要、報告年、通貨、バウンダリ
W1 現状	水の依存度、水のアカウンティング(水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合)、バリューチェーンでの協働
W2 事業影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会
W5 施設レベルの水会計	施設レベルの水に関するデータ
W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与と整合
W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
W9 検証	水情報に関する外部検証
W10 承認	回答承認者の情報

2022 カテゴリ別ウェイティング - 一般

カテゴリー	マネジメント ウェイティング	リーダーシップ ウェイティング
コンテキスト	0%	2%
水会計	12%→13%	12%→13%
バリューチェーン・エンゲージメント	9%→10%	9%→10%
ビジネスへの影響	3%	3%
水リスク評価	15%→12%	13%→11%
水関連リスクエクスポージャーと対応	10%	10%
水関連機会	4%	4%
水関連ポリシー	9%→8%	9%
ガバナンス	15%	15%
事業戦略	7%	7%
環境課題への統合的アプローチ	3%	3%
定性的・定量的目標	13%	13%
検証	0%→2%	0%

「検証」カテゴリーは、W5.1aのマネジメントレベルに重みづけがされるようになりました

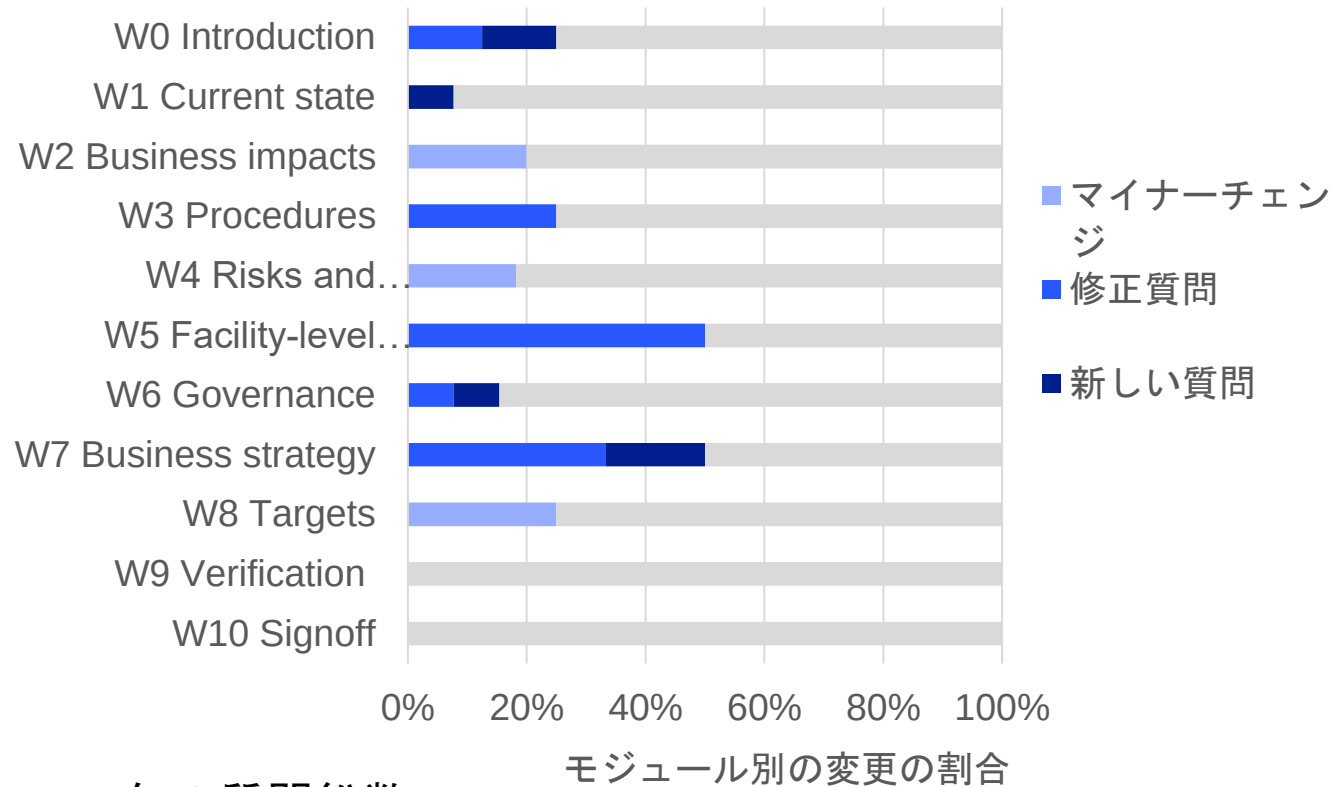
2022 カテゴリーウェイティング変更点 - セクター別



全セクターでウェイトを若干増加		マネジメン	リーダー	マネジメン	リーダー	マネジメン	リーダー	マネジメン	リーダー	マネジメン	リーダー
	水のカテゴリー／セクター	CH	EU	FBT	M&M	O&G					
CH、M&M、O&Gのウェイトを若干増加。	コンテキスト	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%
	水会計	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%
	バリューチェーン・エンゲージメント	9%→10%	9%→10%	5%	5%	12%	12%	6%→7%	6%→7%	6%→7%	6%→7%
両レベルとも全セクターでウェイトが若干減少	ビジネスへの影響	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
	水リスク評価	13→10%	11%→9%	15%→12%	13%-→11%	13%→11%	11%→10%	15%→12%	13%-→11%	15%→12%	13%-→11%
	水関連リスクエクスポージャーと対応	10%	10%	12%	12%	9%	9%	10%	10%	10%	10%
マネジメントレベルでは全セクターでウェイトが若干減少	水関連機会	4%	4%	5%	5%	4%	4%	5%	5%	5%	5%
	水関連ポリシー	9%→8%	9%	9%→8%	9%	8%→7%	8%	9%→8%	9%	9%→8%	9%
	ガバナンス	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
マネジメントレベルにおけるEUのウェイトを少し増やす	事業戦略	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
	環境課題への統合的アプローチ	7%	7%	6%→7%	6%→7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
	定性的・定量的目標	13%	13%	13%	13%	12%	12%	13%	13%	13%	13%
マネジメントレベルにおける新しいウェイト付け	検証	0%→2%	0%	0%→2%	0%	0%→2%	0%	0%→2%	0%	0%→2%	0%

2021年からの変更点の概要

モジュール別の変更点



- 質問書の87%が「変更なし」または「マイナーチェンジ」
- 4つの新規設問
- 3つの設問を削除
- 6つの設問を修正
- セクター固有の新規/修正設問は無し

2022年の質問総数 **71**

(セクター別質問とサプライチェーンモジュールを除く)

※変更点の詳細は[概要資料\(日本語\)](#)及び[詳細資料\(英語\)](#)をご覧ください。

2022年水セキュリティ変更点のヘッドライン



CDPのミッションのための戦略的優先事項を推進するため、最小限の改訂と新しいコンテンツが加わりました。

情報開示が強化されました。



ガバナンス – 取締役会レベルの能力



水効率（売上高ベース）



今後の水の動向



シナリオ分析



水の影響が少ない製品やサービス

水セキュリティ質問書内容変更概要



3 つの削除された設問

(加えて、サプライチェーンモジュールから2つ)

- ▼ リスク評価の手順に関するW3.3bおよびW3.3c（2021年） - W3.3aに質問統合
- ▼ W7.3a (2021) シナリオ分析の水関連の成果に関するもの（差し替え）。
- ▼ SW0.2、SW0.2a（2021年） **ISIN番号**の要求削除（W0.7に移動）

4 つの 新規設問

- ▼ W0.7 会社固有の識別子（例：ISIN番号）
- ▼ W1.3 取水効率の数値
- ▼ W6.2d 水関連の問題に関する取締役会レベルの能力
- ▼ W7.5 水への影響が少ない製品・サービス

6 つの修正箇所

- ▼ W0.3 Countries/Areasの質問文は、混乱をなくすため、質問文をガイダンスに合わせる改訂を行いました。
- ▼ W3.3a 報告の手間を減らすために、リスク手順の質問を修正
- ▼ W5.1a 「**検証**」の定義を明確にする修正
- ▼ W6.3 回答企業は、水需要の**将来的な傾向**を評価するための管理責任があるかどうかを示すことが可能となります。
- ▼ W7.3 シナリオ分析の「Climate-related」の指定を削除
- ▼ W7.3a 企業は、使用したさまざまなタイプのシナリオ分析や、水関連の結果が自社のビジネス戦略にどのように影響したかを本設問で報告することが可能となります。

スコアリングアプローチの変更



ベストプラクティスを反映するため、またはテーマ間の整合性を図るための設問レベルの採点基準の変更（例：設問W4.1a, W4.2, W4.2a, W4.3a.）



間接操業（W1.1 & W1.4）において水を重要視していないと回答した企業のみに適用される新スコアリングルート追加。



リスクと機会の問題（W4.2, W4.2a & W4.3a）のポイントは、これまでは各行に比例して付与でしたが、2022年ではマネジメントとリーダーシップレベルで最も良い列（best row）が採点されるようになりました。



再構築。2022年、企業手法の一貫性を高めるため、全プログラムの全基準で文言の変更と再構成（採点に影響なし）。

スコアリング基準 変更点の概要



＝スコアへの影響はほとんどない。詳細については、ウェブサイト上の「変更点」資料をご参照ください。



W0 イントロダクション			W3 手続き		
W0.6a	マイナーチェンジ	リーダーシップ	W3.3a	採点方法の変更（設問内容の変更に伴うもの）	情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ
W0.7	新規設問	スコアなし	W3.3b	スコアリングの変更	マネジメント
W1 現在の状態			W4 リスクと機会		
W1.1	マイナーチェンジ	マネジメント	W4.2	スコアリングの変更	マネジメント、リーダーシップ
W1.2	マイナーチェンジ	認識, リーダーシップ	W4.2a	スコアリングの変更	マネジメント、リーダーシップ
W1.2b	マイナーチェンジ	リーダーシップ	W4.3a	スコアリングの変更	マネジメント、リーダーシップ
W1.2d	マイナーチェンジ	マネジメント	W5 施設レベルの水会計		
W1.2h	スコアリングの変更	マネジメント	W5.1	マイナーチェンジ	マネジメント
W1.2i	スコアリングの変更	マネジメント	W5.1a	スコアリングの変更	情報開示、認識、マネジメント
W1.2j	スコアリングの変更	マネジメント	W6 ガバナンス		
W1.3	新規設問	情報開示、認識	W6.1a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ
W-CH1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W6.2a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ
W-EU1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W6.2d	新規設問	情報開示、認識、マネジメント
W-FB1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W6.3	スコアリングの変更	マネジメント、リーダーシップ
W-MM1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W6.5a	マイナーチェンジ	マネジメント
W-OG1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W7 事業戦略		
W1.4	スコアリングの変更	情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ	W7.1	スコアリングの変更	マネジメント、リーダーシップ
W1.4a	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W7.3a	マイナーチェンジ	情報開示, リーダーシップ
W1.4b	マイナーチェンジ	マネジメント、リーダーシップ	W7.5	新規設問	情報開示、認識
W1.4d	マイナーチェンジ	マネジメント	W8目標		
W2 ビジネスへの影響			W8.1	明確化	マネジメント
W2.1a	マイナーチェンジ	リーダーシップ	W8.1a	明確化	マネジメント、リーダーシップ
			W8.1b	明確化	マネジメント

水セキュリティAリスト要件



▼リーダーシップポイントの最低閾値スコアを獲得

▼重要な範囲を開示除外対象としていないW0.6、W0.6a)

除外の背景において(質問W0.6a)、水量および/または水質の影響に関して(すなわち、汚染負荷に関して)、企業は少なくとも、報告した各除外内容の重大さの程度の定性的な指標を示す必要があります。

▼投資家の要請に対する公開の回答の提出。さらに、企業は多くの確認事項を満たしている必要があります

加えて、追加のチェック（レピュテーションチェック）

詳細は[スコアリングイントロダクション](#)の資料をご覧ください。

モジュール0： イントロダクション

W0 Introduction／イントロダクション



2022年版モジュール	
W0 導入	W0.1 企業概要
W1 現状	W0.2 データの報告年の開始日と終了日の記入
W2 ビジネスへの影響	W0.3 データを提供する国を選択
W3 手順	W0.4 すべての財務情報に使用される通貨を選択
W4 リスクと機会	W0.5 水に関連する影響の報告対象とした会社、事業体、またはグループの報告範囲(バウンダリ)として該当するものを選択
W5 施設レベルの水の検証	
W6 ガバナンス	
W7 事業戦略	
W8 定性的目標・定量的目標	★ 財務支配力(financial control)を有している会社、事業体またはグループ
W9 検証	★ 経営支配力(operational control)を有している会社、事業体またはグループ
W10 最終承認	★ 株式を保有している会社、事業体またはグループ
SW サプライチェーン	★ その他
	W0.6/0.6a バウンダリの除外
	W0.7 市場固有の識別子(複数可)

W0 導入

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



W0 - はじめに



(W0.3) 事業展開している国・地域を選択してください。

修正箇所

▼ 質問文は、混乱を避けるために「データを提供する国/地域を選択してください」から「**事業展開している国/地域を選択してください**」に変更し、質問文をガイダンスに合わせました。

(W0.7) 貴社は、ISINコードまたはその他の固有の識別子（Ticker、CUSIPなど）を持っていますか。

新規設問

▼ ISINコードをはじめとする市場識別子は、債券、先物、株式などの有価証券の識別にグローバルに使用されています。貴社の固有の識別子を提供することで、回答の透明性を高めます。全プログラム共通の変更です。

重要な除外項目

W0.6

このバウンダリ（境界）内で、地域、施設、水の側面、またはその他の開示対象外のものはありますか。

Response options

Select one of the following options:

- Yes
- No

リーダーシップ0/0ポイント

W0.6aに対応

リーダーシップ。1/1ポイント

- ▼ 除外項目の根拠と、除外項目の定量的な評価が求められます
- ▼ Aリスト要件としては、本設問で少なくとも**定性的**に説明できていることが求められます（マネジメント要件）
- ▼ 基本的な「重要な除外」でないものの例としては、上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水と採取した雨水等
- ▼ 最近の合併・買収に伴う除外項目は、基本的に報告年から1年以内までであればAリスト要件内としても問題ありません。この場合必ず何年から報告に含めるか記載ください。
- ▼ 基準を満たせばAリスト要件を満たしていると認められます

Aリストの必須条件に直結する設問（マネジメントレベル）

重要な除外項目

(W0.6a) 除外項目を報告してください。



変更度合い：リーダーシップレベルの明確化

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

次のように開示された行の数に比例して、行ごとにポイントが付与されます：

ルートA) 最近の合併/買収以外の除外内容を開示する場合、[説明してください]欄に次の内容が記入されている：

- i) 総使用量(または消費量)あるいは排出される汚染負荷のかなりの部分を代表するのを含む、除外の根拠 - 1ポイント
- ii) 除外項目が占める水量の割合の定量的な尺度 - 例えば、総取水量(または消費量)のうちの割合) - 0.5ポイント

ルートB) 最近の合併/買収以外の除外内容を開示する場合、[説明してください]欄に次の内容が記入されている：

- i) 買収が生じた年と企業がその報告にデータを含めると予想される時期 - 1.5ポイント

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水、採取した雨水、および最近の企業分割は、重大な除外内容とは見なされません。

この質問では最大1.5ポイントを獲得できます。

報告される除外に関して、重要な除外は水量だけではなく、セクターとしても重要な除外を行っていないか、ガイダンスも含め注意深くご確認ください。

修正内容
報告される除外数量は、企業が取水や、消費したりする総水量に対する相対的なものでなければならないことを明確にしました。

Exclusion	Please explain
-----------	----------------

コロンビア

コロンビアにある2つの施設は、重要ではないと考えられるため、本年度の報告からは除外されています。この施設は、報告年度に全社で消費された水の総量の0.03%に相当します。



Aリストの必須条件と関連の設問
(マネジメントレベル)

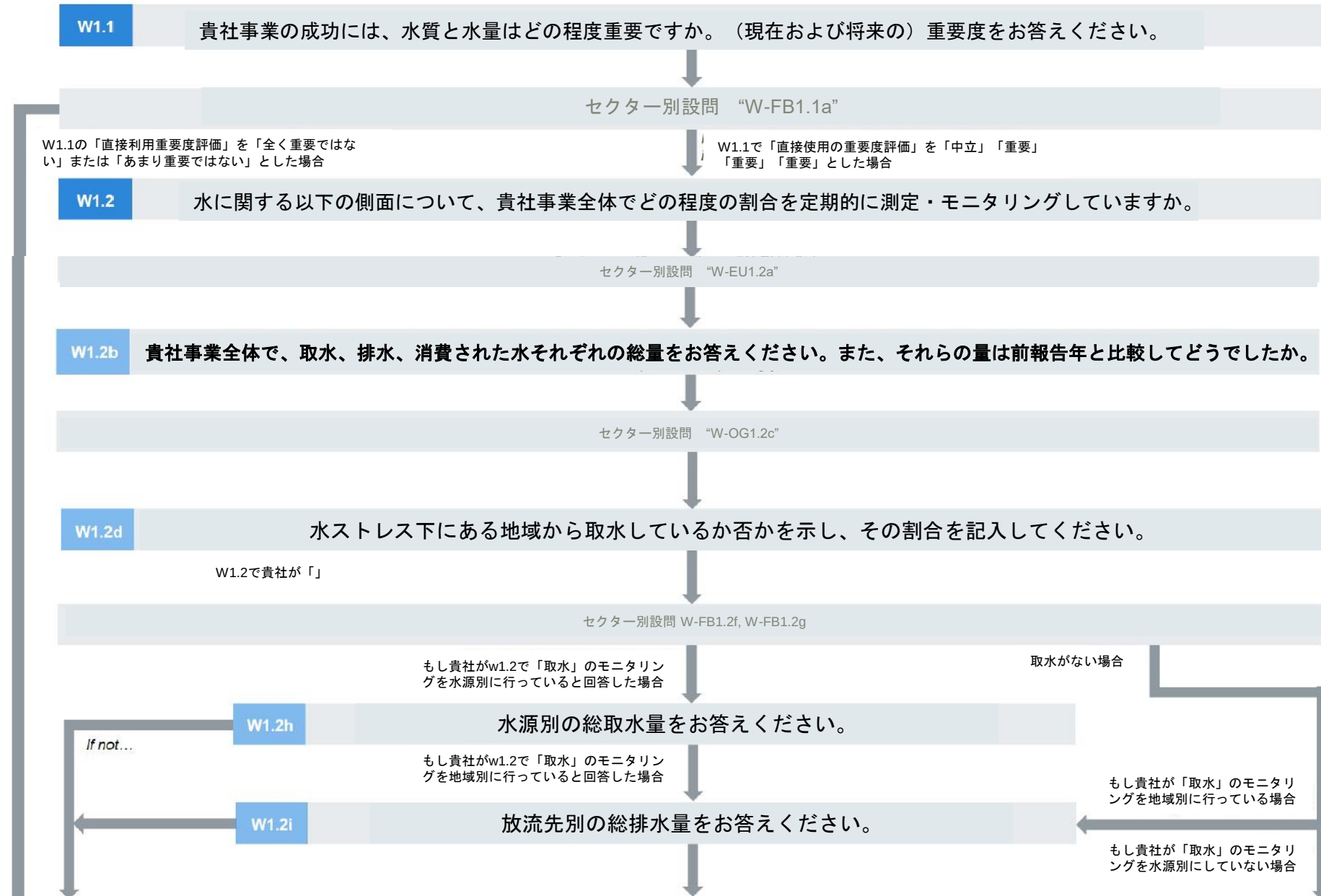
モジュール1：現在の状態

W1 現状

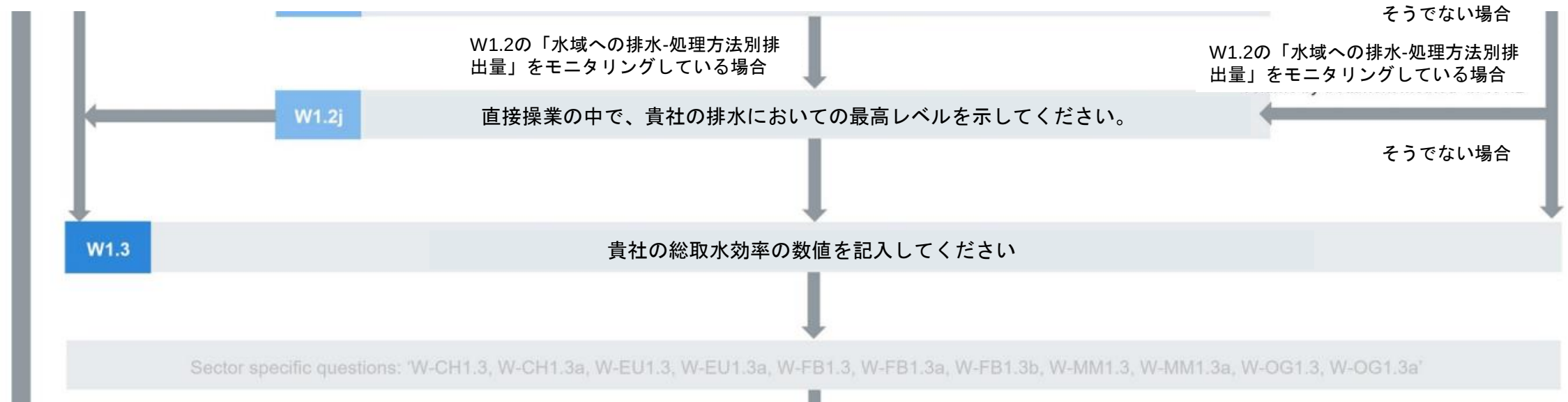
2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



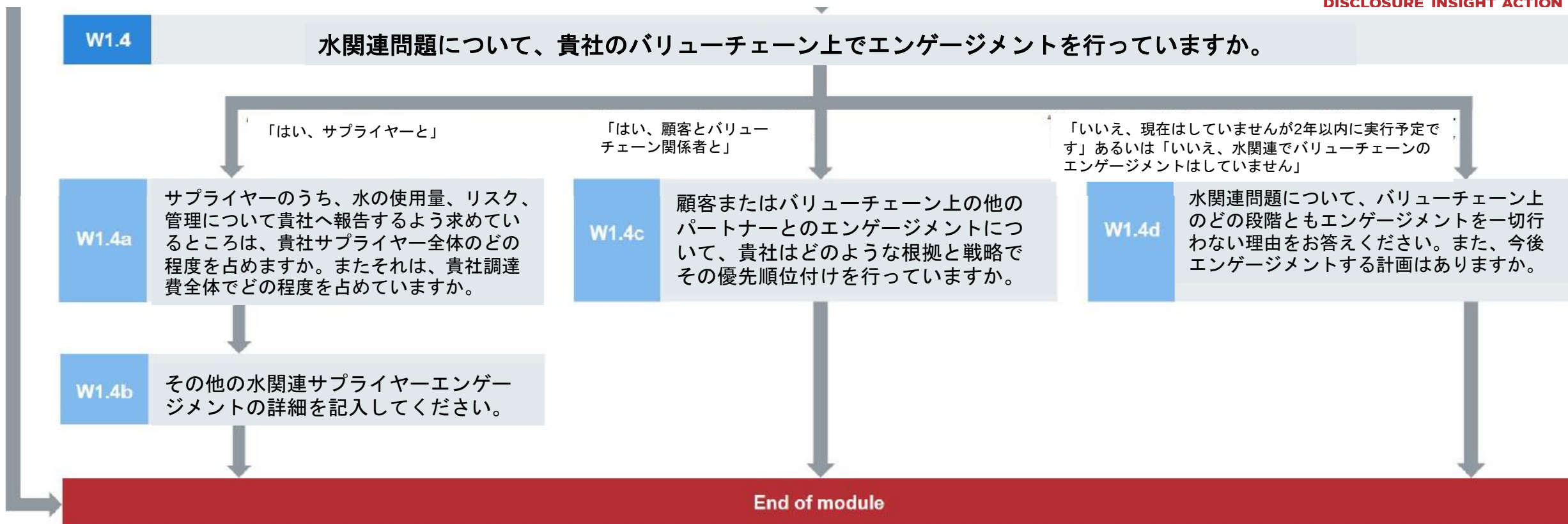
W1 現状



一つの新しい質問



バリューチェーン上のエンゲージメント



W1 Current state／現状

2022年版モジュール

W0 導入

W1 現状

W2 ビジネスへの影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水の検証

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 定性的目標・定量的目標

W9 検証

W10 最終承認

SW サプライチェーン

W1.1 貴社事業の成功にとって、水の質と量はどの程度重要ですか？（現在および将来の）重要度をお答えください。

	直接操業での重要度	間接操業での重要度	説明してください
十分な質・量の淡水	XX ・全く重要でない ・あまり重要でない ・中間 ・重要 ・必須 ・評価したことがない	YY 選択肢同左 ①主な用途、②なぜXX なのかの説明、③将来 の依存度とその説明	直接操業、間接操業それぞれについて...
十分な質・量のリサイクル水、汽水、随伴水			

海水を主に使用している場合→brackish water（汽水）として開示
海水を淡水化している場合もリサイクル水としてみなしてください。

依存度

(スライド 1/3)



(W1.1) 貴社の事業の成功には、水質と水量はどの程度重要ですか。(現在および将来の)重要度をお答えください。

変更度合い：マネジメントレベルの軽微な変更

水質と水量	直接利用の重要度評価	間接利用の重要度評価	説明してください
十分な量の良質な淡水を利用できること	選択肢: - 全く重要ではない - さほど重要ではない - 中立 - 重要 - 不可欠 - 評価していません	選択肢: - 全く重要ではない - さほど重要ではない - 中立 - 重要 - 不可欠 - 評価していません	文章入力欄[最大2,000文字]
十分な量のリサイクル水、汽水、随伴水を利用できること			

W1.4でポイントを獲得するためには、両方の行が基準iv)を満たしている必要があります。

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

説明してください欄で以下の内容を記入することに対して、各行でマネジメントポイントが付与されます：

- i) 直接操業での主な用途(または利用なしの表明) - 0.5ポイント
- ii) 間接操業での主な用途(または利用なしの表明) - 0.5ポイント
- iii) 直接操業に対して当該重要度評価を選択した理由 - 0.5ポイント
- iv) 間接操業に対して当該重要度評価を選択した理由 - 0.5ポイント

修正内容

間接操業「重要度評価」で「あまり重要でない」または「全く重要でない」を選択した企業は自社固有での説明が必要となりました。

注記：基準iv)に関して、[重要ではない]または[まったく重要でない]が選択されている場合、ポイント付与のためには重要度評価が選択された理由の自社固有の説明が記入されている必要があります。そうでなければ、この基準に対しては0ポイントとなります。

- 間接操業において水を重要視していないと回答した企業のみに影響します。
- W1.4でクロスチェックされています。バリューチェーンとの関わりが、貴社ビジネスに関連する活動ではないということを確認します。

(W1.1の基準 iv への対応)

事例紹介



iv) 間接操業に対して当該重要度評価を選択した理由 - 0.5ポイント

注記：基準iv)に関して、[重要ではない]または[まったく重要でない]が選択されている場合、ポイント付与のためには重要度評価が選択された理由の**自社固有の説明**が記入されている必要があります。そうでなければ、この基準に対しては0ポイントとなります。

「あまり重要でない」/「全く重要でない」を選択した理由は...

この設問のCompany Specific（自社固有）
とはどういう意味ですか？

➤ この企業の間接操業が水を重要視していない理由を説明する、地域または業界特有の文脈/背景情報。

※詳しくはスコアリングイントロダクションの資料をご覧ください。

0点

...水は家庭用としてしか使われず、サプライヤーにとって不可欠なものではないので、重要視されていない

重要度評価の説明としては有効だが、自社固有ではないので、なぜサプライヤーで使われていないのかを知る必要がある - 0点

0.5点

...商業用不動産を取得して賃貸している当社では、お取引先のほとんどが本社オフィスのみのガス・電気メーカーであり、操業上の水への依存度は低い。また、当社のサプライヤーは一般的に水不足の問題のない地域で事業を展開しています。さらに、当社の製品は使用段階で水を必要としないため、当社のバリューチェーンには下流での水への依存はありません。

W1 Current state／現状



W1.2 事業全体の水の各側面について、定期的に測定・モニタリングする割合

2022年版モジュール	水の側面	施設の割合(%)	説明してください
W0 導入			
W1 現状	取水—総取水 取水—水ストレス地域からの取水量 取水—水源別取水量 取水の質 排水—総排水量 排水—放流先別排水量 排水—処理方法別排水量 排水の質—標準的排水基準別 排水の質—温度 水消費—総消費量 リサイクル水/再利用水 十分に機能し安全な水と衛生の設備を全従業員に提供	選択肢 ・測定していない ・1%未満 ・1-25% ・26-50% ・51-75% ・76-99% ・100% ・重要でない(not relevant)	＞測定している場合は、以下を記載。 ①測定する頻度(毎月、四半期ごと、毎年) ②測定の方法(ハイドロメーター、水道料金明細) ＞関連しない(not relevant)を選択した場合、以下を記載。 ①なぜこの水が重要でない(not relevant)なのか ②将来予測
W2 ビジネスへの影響			
W3 手順			
W4 リスクと機会			
W5 施設レベルの水の検証			
W6 ガバナンス			
W7 事業戦略			
W8 定性的目標・定量的目標			
W9 検証			
W10 最終承認			
SW サプライチェーン			

▼ 施設の割合の計算方法・・・分母はその水を使用している施設数

▼ 最低でも一年に一回は測定していること

ガイダンス追記—新しい回答事例の追加

全社的な水会計

(W1.2)水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。



▼ 「説明してください」欄では、頻度を含め具体的な「質」を確認していることの説明を行ってください。

▼ 頻度

- ・定期的にモニタリング、では頻度の説明として不十分です。1年に1度など、第三者が見ても把握で生きよう記載いただくのが望ましいです。
- ・「測定」の頻度をご記載ください。データの観察頻度ではございません。

▼ 評価方法

「外部機関をとおして」のみの記載ではツールと判断されません。外部機関がどのようなツール（メーターなど）を利用しているのかまでご記載ください

全社的な水会計

(W1.2)水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。



変更度合い：軽微な変化 - 認識レベル

水に関する側面	操業地/施設/事業の比率(%)	説明してください
取水 - 総取水量	選択肢: - モニタリングしなかった 1%未満 1~25 26~50 51~75 76~99 100% - 関連性がない	文章記入欄[最大1,000文字]
取水 - 水源別取水量		
[金属・鉱業セクターのみ] 貴社の金属・鉱業セクター活動に関連した混入水 - 総量		
[石油・天然ガスセクターのみ] 貴社の石油・天然ガス事業活動に関連した随伴水 - 総量		
取水の質		
排水 - 総排水量		
排水 - 放流先別排水量		
排水 - 処理方法別排水量		
排水の質 - 標準的排水基準別		
排水の質 - 温度		
水消費量 - 総量		
リサイクル水/再利用水		
適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを全従業員に提供すること		

認識レベルで
評価される行

2022年の新行

サイト/施設/操業の25%以上をモニタリングしている企業をスコアリング対象

これらの変更は、W1.2 M&MとO&G（セクター）の採点にも適用されます。これに伴い、認識でのセクター別点数配分が4点から5点に増加しました。

修正内容 認識

- 列の「排水品質-標準排水パラメータ別」は、2022年に認識レベル基準に照らして採点されます。
- 認識レベルのポイント配分が3から4に増加しました

排水品質データ - 標準的な排水パラメータ別の定義（ガイダンスより仮訳しています。）
生物学的酸素要求量（BOD）や総懸濁物質質量（TSS）などのパラメータによって追跡される排水／排水の水質を指します。品質指標の具体的な選択は企業の製品、サービス、業務によって異なるが、組織の部門で使用されているものと一致させる必要があり、国や地域の規制によって変える必要がある場合もある。

全社的な水会計

(W1.2)水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。



変更度合い：軽微な変化 - 認識レベル

認識採点基準

選択肢...である以下の行のそれぞれに対して

- [26 ~ 50]
- [51 ~ 75]
- [76 ~ 99]
- [100%]

[操業地/施設/事業の比率(%)]欄で...が選択されている - 1ポイント

- [取水 - 総取水量]
- [排水 - 総排水量]
- [水消費量 - 総消費量]
- [排水水質 - 標準的排水基準別]

その他の行 - 0/0ポイント

サイト/施設/操業の25%以上をモニタリングするための選択ベースのスコアリング

修正内容

認識

- 列の「排水水質-標準排水基準別」は、2022年に認識基準に照らして採点されます。
- 認識レベルのポイント配分が3から4に増加しました

全社的な水会計

(W1.2b)貴社の事業全体で、取水、排水、使用された水それぞれの総量をお答えください。また、それらの量は前報告年と比較してどうでしたか。



変更度合い：軽微な変更 - リーダーシップレベル

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている必要があります。

i) 報告した数値が下記の式と一致する(最大±5%)場合 - 1ポイント

$$C = W - D$$

ただし、以下のとおりとする

C= [量 (メガリットル/年)]欄の[総水消費量]行

W= [量 (メガリットル/年)]欄の[総取水量]行

D= [量 (メガリットル/年)]欄の[総排水量]行

または

式を満たしていない場合：

報告した数値がバランスを取れていない理由の説明が、[説明してください]欄のいずれかの行に記入されている - 1ポイント

ii) [総取水量]行に対して、[前報告年との比較]欄で以下の選択肢のいずれかを選択： - 0.5ポイント

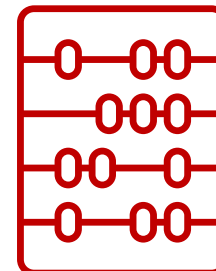
- [大幅に少ない]

- [少ない]

- [ほぼ同じ]

修正内容

リーダーシップレベルの基準i)に「(validな)理由」という言葉を追加し、十分な根拠がある説明のみが加点対象となることを明確化した。



全社的な水会計

(W1.2b)貴社の事業全体で、取水、排水、使用された水それぞれの総量をお答えください。また、それらの量は前報告年と比較してどうでしたか。



変更度合い：軽微な変更 - リーダーシップレベル

Good example response:

While close, the total consumption value is not the simple difference between water withdrawal and water discharges. This is due to rainfall events and plant operations that can result in higher discharges, but not affect overall plant water consumption, which is a nominal value based on plant water balance diagrams and actual water withdrawals.

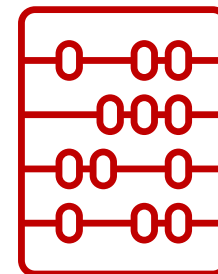
Good example response:

Please note that differences between volumes of water withdrawn, consumed and discharged can be explained, for example, by unquantified losses due to evaporation, leaks and volumes of condensate generated through the use of steam as a source of energy. This is why total water consumption does not equal total water withdrawals minus discharges.

(仮訳)

近い値ではありますが、総消費量は取水量と放水量の単純な差ではありません。これは、降雨現象や工場の操業によって、排水量が増えることはあっても、工場全体の水消費量には影響しないためで、工場の水収支図と実際の取水量に基づいた名目上の値となっています

取水量、消費量、排水量の差は、蒸発、漏水、エネルギー源としての蒸気使用時に発生するドレンの量など、数値化されていない損失で説明できる場合があります。このため、水の総使用量は、取水量から排水量を差し引いた量とは一致しない。



全社的な水会計

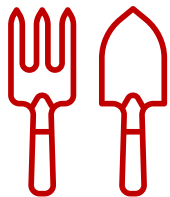
(W1.2d)水ストレス下にある地域から取水しているか否かを示し、
その割合を記入してください。



変更度合い：軽微な変更 - マネジメントレベル
(明確化)



2021年ルートA) 基準i	2022年ルートA) 基準i
i) 水ストレス地域から取水があるかどうかを評価するために、選択したツールをどのように適用したかについての 自社固有 の説明 - 1 ポイント	i) 水ストレス地域から取水されているかどうかを評価するために、選択したツールをどのように適用したかの説明（例：どのデータセットを使用したか） - 1 ポイント



修正内容

ROUTE A 基準 i)から *自社固有*の要件が削除された。この基準では、選択したツールの説明を求めるようになった。

全社的な水会計

(W1.2h)水源別の総取水量をお答えください。

(W1.2i)放流先別の総排水量をお答えください。



変更度合い：スコアリング基準の変更 - マネジメントレベル（簡略化）

2021年 ルートA基準

A) [関連性あり]を選択した場合は、[説明してください]欄に以下の情報をすべて記入し回答を完了した行のそれぞれについて、マネジメントポイントが0.5ポイント付与されます：

i) この特定の水源からの取水量が重要である理由について説明

ii) 前報告年からの量の変化/無変化の理由を説明。

2022年基準

ルートA) 行が全て記入されている、且つ、[関連性]欄で[関連する]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容を記入：

i) 前報告年からの量の変化/無変化の理由に関する説明 - 0.5ポイント

ルートB) 行が全て記入されている、且つ、[関連性]欄で[関連しない]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容を記入：

i) この特定の水源からの取水量が重要ではない理由について説明 - 0.5ポイント

ルートC) [関連性]欄で[関連するが量は不明]が選択されている場合 - 0ポイント

2022年度質問書では
削除しています

修正内容

2021年版スコアリング基準のルートA基準i)は削除されました。

全社的な水会計

(W1.2h)水源別の総取水量をお答えください。



変更度合い：軽微な変更 - マネジメントレベル

地下水-再生不能

50年のタイムスケールで自然から水が補充されず、比較的深いところにある地下水

[地下水 - 非再生可能]行に対して、[前報告年との比較]欄で以下の選択肢のいずれかを選択 - 0ポイント

- [ほぼ同じ]

- [多い]

- [大幅に多い]

行「地下水-再生不能」においてマネジメントレベルでは有効な選択肢ではなくなりました。

修正内容

「地下水-再生不能」の行については「前回の報告年度との比較」欄で「ほぼ同じ」を選択した場合、その行はポイント対象外となります。これは、再生不能な地下水の利用を今後減らしていただきたいという意図による変更です。

W1.2j - 処理のレベル別排出量

(W1.2j)貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

回答例

総排水量が100メガリットルで、1次、2次、3次と処理されている場合



三次処理（高度処理）＝90メガリットル					
直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量（メガリットル/年）	前報告年との処理済み量の比較	この量が適用される操業地/施設/事業の割合（％）	説明してください
三次処理（高度処理）	選択肢： ● 関連する ● 関連するが量は不明 ● 関連性がない	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢： ● 大幅に少ない ● 少ない ● ほぼ同じ ● 多い ● 大幅に多い ● 初めての	選択肢： ● モニタリングなし ● 1%未満 ● 1-10	文章入力欄[最大2,000文字]
二次処理	二次処理＝0メガリットル				
一次処理のみ	一次処理＝10メガリットル				
未処理で自然環境に排水					
未処理で第三者に排水					
その他					

3列目の「量（メガリットル/年）」の合計は、全社的な排水量の合計と一致していることが想定されます（W1.2b 排水）

例：排水の量が計100メガリットルの場合

処理レベルの報告を行うことにより、企業が排水をモニタリングしており、どの活動が水質にどの程度影響を与えているかを理解するための設問

この設問は、W1.2「放流先別の総放流量データを提供してください」の中で、「放流水-処理方法別の放流量」をモニタリングしていることを示している場合にのみ表示されます。

処理レベルはそれぞれの排水の最高レベルでの量をそれぞれご記載ください。

排水処理に関する用語の説明（仮訳）

※ガイダンス記載



Explanation of terms

- **Primary treatment:** Primary treatment involves the physical removal of suspended solids and floating material, typically by sedimentation. A preliminary treatment may often be applied involving the physical removal of large debris, large particles, oils, and grease, typically through screens and grit chambers.
- **Secondary treatment:** Secondary treatment involves the degradation of organic matter and reduction of solids through biological treatment. The removal of nutrients (nitrogen and/or phosphorus) can also be achieved at this level of treatment using a combination of chemical and biological treatments. Secondary treatment follows primary treatment.
- **Tertiary treatment:** Tertiary treatment involves the additional treatment needed to remove suspended, colloidal and dissolved constituents (nutrients, heavy metals, inorganic and other contaminants) remaining after secondary treatment through a number of processes including granular media filtration, biological nitrification-denitrification, biological phosphorus removal, chlorination, etc. Tertiary treatment follows secondary treatment.

一次処理

一次処理では、通常、沈降によって懸濁物質や浮遊物質を物理的に除去するものを指します。予備処理では、通常、スクリーンや沈砂地を用いて、大きなゴミ、大きな粒子、オイル、グリースを物理的に除去することが行われる。グリースを物理的に除去する予備処理が行われることが多い。一般的にはスクリーンや沈砂地を使用します。

二次処理

二次処理では、生物学的処理による有機物の分解と固形物の減少が行われる処理のことを指します。このレベルの処理では、化学的処理と生物学的処理を組み合わせ、栄養素（窒素および／またはリン）の除去を行うことができます。化学処理と生物処理を組み合わせで行います。二次処理は一次処理の後に行われます。

三次処理（高度処理）

三次処理では、二次処理後に残った懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養塩、重金属、無機物、その他の汚染物質）を除去するために必要な追加処理を行います。粒状媒体ろ過、生物学的硝化脱窒、生物学的リン除去、塩素消毒などのプロセスを経て、二次処理後に残る懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養塩類、重金属、その他の汚染物質）を除去するために必要な追加処理を行います。三次処理は二次処理の後に行われます。

全社的な水会計

(W1.2j)貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。



変更度合い：スコアリング基準の変更（追加） - マネジメントレベル

マネジメント採点基準

ルートA) 行が全て記入されている、且つ、[排水する処理レベルの事業への関連性]欄で[関連する]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容の両方が記入されていれば0.5ポイント付与されます：

- i) 貴社の排水に適用される処理のレベルに関する根拠、且つ
- ii) 組織が規制または自主基準を順守しているか否か

ルートB) 行が全て記入されている、且つ、[関連性]欄で[関連しない]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容が含まれている：

- i) 処理のレベルが貴社の排水に関連しない理由の説明 - 0.5ポイント

ルートC) [排水する処理レベルの事業への関連性]欄で[関連するが量は不明]が選択されている場合 - 0ポイント

注記：[その他]の行はマネジメントレベルで採点されません。

修正内容

マネジメントレベルの排水処理を点数化する新基準。

W1 - 現状

(W1.3) 貴社の総取水量の効率を示す数値を記入してください。

新規設問

- 取水効率の指標により、企業は収益の水への依存度を把握し、水使用量のベンチマーキングができます。水の効率性を意識することで、コスト削減、ブランド価値の向上、製品やサービスの革新につながります。
- この指標は、水セキュリティが確保された未来に向けた企業の移行を追跡するのに役立ちます。
- 参考：セクター別質問にある製品/活動に焦点を当てた水原単位のものと比較しても、これはSDG指標6.4.1に沿った、よりハイレベル、つまり企業全体の指標の位置づけとなります。

売上

→企業の通常の活動から生じる収益（割引、引当金および返品を控除）-販売した商品・サービスの原価および営業費用を控除して利益を算出する前のもの（国際財務報告基準IFRSに基づく）

効率に関する数値は、売上と総取水量から自動計算されます

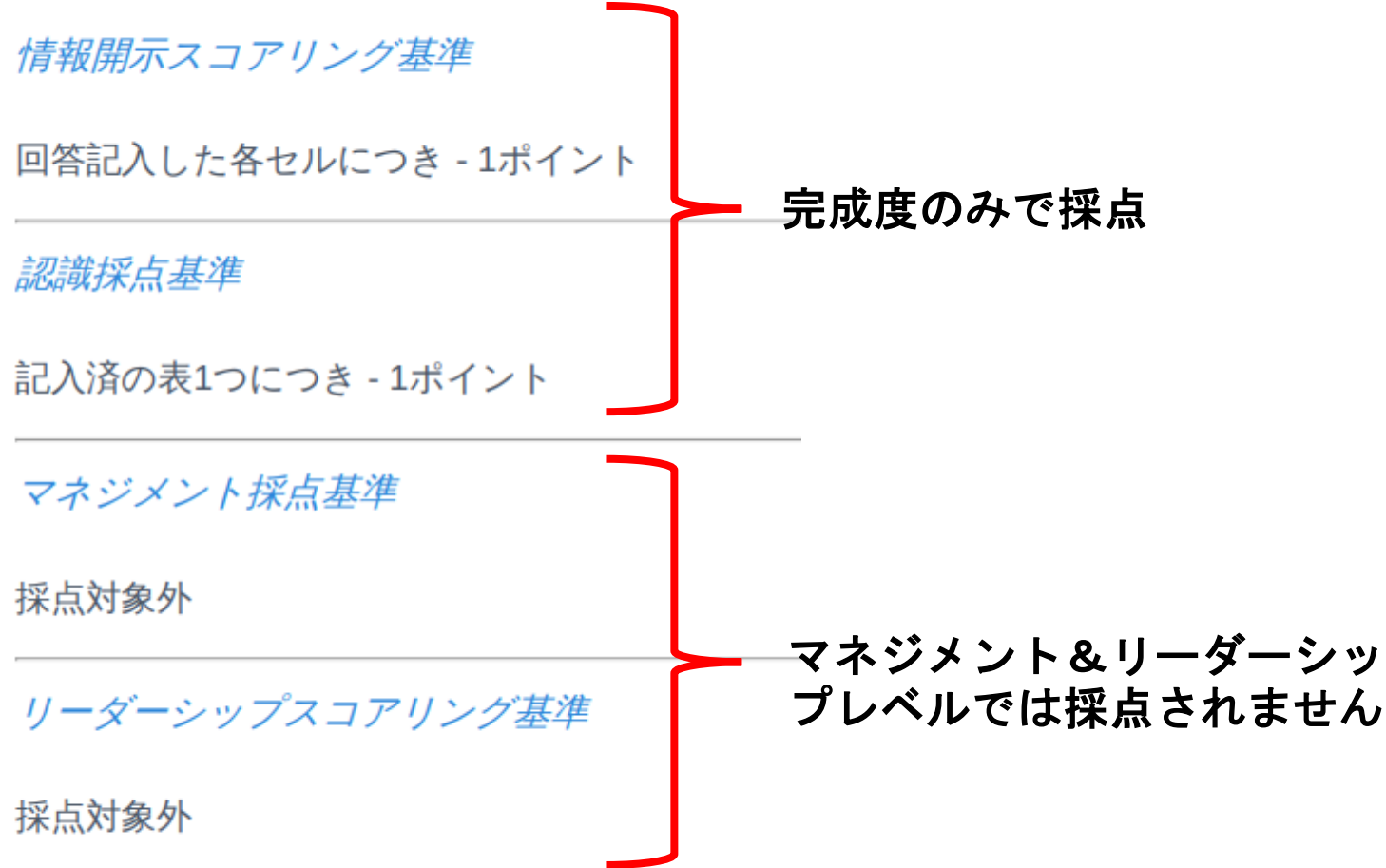
Revenue	Total water withdrawal volume (megaliters)	Total water withdrawal efficiency	Anticipated forward trend
Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of two decimal places]	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of two decimal places]	[Auto-calculated]	Text field [maximum of 500 characters]

水原単位

(W1.3)貴社の総取水効率の数値を記入してください。



変更度合い：新規設問と新しい基準



修正内容
情報開示と認識レベルの新しい基準

バリューチェーン・エンゲージメント

W1.4

水関連の問題について、バリューチェーンと連携していますか？

回答選択肢

以下の選択肢から該当するものをすべて選択:

- はい、サプライヤーと
- はい、顧客、またはその他のバリューチェーン・パートナーと
- いいえ、現時点ではありませんが、今後2年以内に行う予定です
- いいえ、水関連でバリューチェーンと協働していません

1ポイント

0.5ポイント

ベストプラクティスは、
少なくともサプライヤー
とエンゲージメントを
行っていることです

-認識レベル

(サプライヤーとのエンゲージ
メントがない場合、関連設問
W1.4a,bが表示されずリーダー
シップ0/0ルート)

▼企業がサプライヤーや顧客、その他のバリューチェーンパートナーと
連携するための動機付け

バリューチェーン・エンゲージメント

(W1.4) 水関連問題に対し、貴社バリューチェーンと協働していますか。



変更度合い：新規採点ルート

- 本変更点は間接操業において「水は重要ではない」と回答した企業のみ適用されます。
- W1.1の基準とのクロスチェック iv:バリューチェーンへのエンゲージメントが、貴社ビジネスに関連する活動ではないことの検証を提供する。
- 全レベルのスコアリングに適用されます：情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ

情報開示のレベル

情報開示スコアリング基準

ルートA) いずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

注記：質問W1.1の両方の行に関して、[間接利用の重要度評価]欄で[どちらとも言えない]、[重要]、または[非常に重要]を除くいずれかの選択肢を選択した企業に対して、以下のルートが適用されます。そのため質問W1.4のルートに関してではありません。

ルートB) 企業が質問W1.1のすべての行の[間接利用の重要度評価]欄で[どちらとも言えない]、[重要]、または[非常に重要]を除く選択肢を選択した場合 - 1ポイント

修正内容

W1.4のルートに入っている企業：変更なし。上記ルートA)はドロップダウンの選択式採点として残す。

W1.4のルートに入っていない企業については、2022年に新たな採点ルートが追加されました。

- W1.4でフルポイントを得るためには、企業は設問W1.1の「間接使用の重要度評価」の列で、「あまり重要でない」または「全く重要でない」のどちらかを選択する必要があります。開示レベルでは、W1.1のデータポイントを報告している限り、ポイントが付与される。

バリューチェーン・エンゲージメント

(スライド3/3)



(W1.4) 水関連問題に対し、貴社バリューチェーンと協働していますか。

変更度合い：新規採点ルート

- 間接操業において「水は重要ではない」と回答した企業のみ適用されます。
- **W1.1の基準とのクロスチェック iv:**バリューチェーンへのエンゲージメントが、貴社ビジネスに関連する活動ではないことの検証を提供する。
- 全レベルのスコアリングに適用されます：情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ

認識、マネジメント、リーダーシップ

マネジメント採点基準

ルートA) [はい、サプライヤー]または[はい、顧客、またはその他のバリューチェーン・パートナー]のいずれかの選択肢 - 1ポイント

注記：質問W1.1の両方の行に関して、[間接利用の重要度評価]欄で[どちらとも言えない]、[重要]、または[非常に重要]を除くいずれかの選択肢を選択した企業に対して、以下のルートが適用されます。そのため質問W1.4のルートに関してではありません。

ルートB)

企業が質問W1.1のすべての行の[間接利用の重要度評価]欄で[重要ではない]または[まったく重要でない]を選択した場合：

- 両方の行に関して、質問W1.1の基準iv)が満たされている場合 - 1ポイント

または

その他の状況 - 0ポイント

修正内容

W1.4のルートに入っている企業。変更なし。ルートA)はドロップダウンの選択式採点として残す。

W1.4のルートに入っていない企業については、2022年に新たな採点ルートが追加されました。

- W1.4で満点を取るには、企業は設問**W1.1の基準iv)**を両行で満たす必要がある。

W1.1への対応 - W1.4への関連性とベストプラクティス



- 「間接使用重要度評価」欄の両行で「あまり重要でない」または「全く重要でない」を選択した場合、W1.4は企業に提示されない。
- W1.4でポイントを獲得するためには、基準ivを両方の行で達成する必要があります。

W1.1, iv) スコア		W1.4点
1列目	2列目	
0点	0点	0点
0点	0.5点	0点
0.5点	0点	0点
0.5点	0.5点	満点



バリューチェーン・エンゲージメント



(W1.4a) サプライヤーのうち、水の使用量、リスク、管理について貴社へ報告するよう求めているところは、貴社のサプライヤー全体のどの程度を占めますか。またそれは、貴社の調達費全体でどの程度を占めていますか。

変更度合い：軽微な変更・マネジメントレベル

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

ルートA) [サプライヤー数の割合]欄で、[なし、またサプライヤーにこれを要請する予定もない]と[現在はないが、今後2年以内に求める予定]の両方を除くいずれかの選択肢が選択されている：

[この対象範囲となる根拠]欄に以下の内容を記入している：

- i) 報告対象にこれらのサプライヤーを選択した理由の説明 - 1ポイント
- ii) 報告することに対して、サプライヤーにはどのようにインセンティブが付与されるのか - 1ポイント

[エンゲージメントの影響と成果の評価方法]欄に以下の内容を記入している：

- iii) サプライヤーから要請された情報の種類の詳細 - 1ポイント
- iv) その情報を組織内でどのように活用しているか - 1ポイント
- v) 成功をどのように測定したかについての詳細(例として、使用した評価基準等) - 1ポイント

ルートB) [サプライヤー数の割合]欄で[現在はないが、今後2年以内に求める予定]が選択されている場合、[この対象範囲となる根拠]欄に以下の内容を記入していることに対して、マネジメントポイントが最大2/5ポイント付与されます：

- i) いつこの情報を求めるかについての指標 - 1ポイント
- ii) 報告を求める対象としてどのサプライヤーを選択するかについて、自社固有の詳細 - 1ポイント

修正内容

- ・ 採点要件は満点になりました。

バリューチェーン・エンゲージメント



(W1.4a)サプライヤーのうち、水の使用量、リスク、管理について貴社へ報告するよう求めているところは、貴社のサプライヤー全体のどの程度を占めますか。またそれは、貴社の調達費全体でどの程度を占めていますか。

変更度合い：軽微な変更 - リーダーシップレベル

2021年基準

~~リーダーシップ採点基準~~

~~質問W3.3cでは、リーダーシップポイントの対象となる行のステークホルダーグループ[サプライヤー]に対して、ドロップダウンメニューで[関連性あり、常に含めている]を選択する必要があります。~~

~~リーダーシップポイントは以下のように付与されます：~~

- ~~i) マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている - 1ポイント~~
- ~~ii) [調達費全体に占める比率(%)]欄で、[26～50%]、[51～75%]、または[76～100%]を選択 - 0.5ポイント~~

2022年基準

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップレベルでのポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

- i) [調達費全体における割合]欄で[51～75]または[76～100]のいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

修正内容

- リーダーシップレベル要件にフルでのマネジメントポイントを要求するようになり、基準i)は削除されました。
- ポイント配分を1.5から1に変更
- 「調達額合計%」欄の選択肢
26～50(%)は、ポイント付与対象外となりました。

バリューチェーン・エンゲージメント

(W1.4b)その他の水関連サプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。



変更度合い：軽微な変更 - マネジメントおよびリーダーシップのレベル

修正内容

- ・ マネジメントレベル基準 ii の明確化
- ・ リーダーシップレベル *調達額合計の割合の欄* のオプション「26-50」は、ポイント対象外となりました

リーダーシップの基準

2021年基準 i)	2022年基準 i)
i) 「水管理およびスチュワードシップ向上のためのインセンティブ」を選択する場合「エンゲージメントの種類」の欄で「研修&コンプライアンス」または「イノベーションとコラボレーション」を選択している。 AND - 調達総額の割合」欄の「26~50」、51~75」または「76~100」-1点	i) 「関与の種類」の欄で選択された以下のいずれかの選択肢。 - ‘水管理およびスチュワードシップの向上のためのインセンティブ付与’ - ‘研修&コンプライアンス’ - ‘イノベーションとコラボレーション’ AND 調達総額の割合」欄で「51~75」または「76~100」のいずれかの選択肢を選択 - 1ポイント

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[貴社のエンゲージメントの対象範囲の根拠]に以下の内容を記入：

i) 貴社のエンゲージメントの対象範囲の根拠 - 1ポイント

[エンゲージメントの影響と成果の評価方法]欄に以下の内容を記入している：

- ii) エンゲージメント活動の水関連での有益な成果の詳細 - 1ポイント
- iii) サプライヤーエンゲージメントの成果の評価方法の説明 - 1ポイント

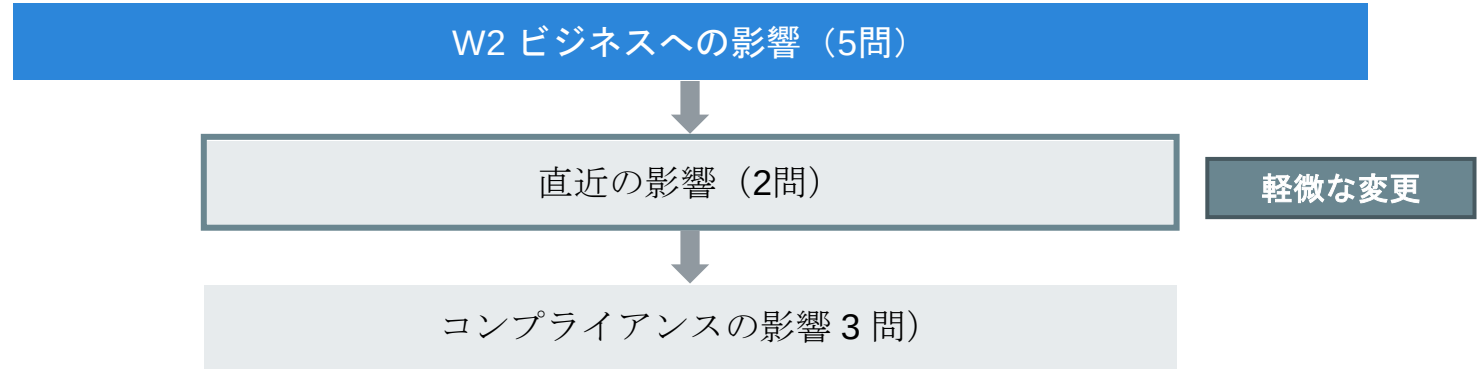
1つ以上の行が情報開示されている場合、最初の行のみが採点されます。

W1.4bでは、W1.4aに書いていただくようなアンケートのみで終わるもの等のエンゲージメント以外のものがある場合、記載をいただく設問となっています。

モジュール 2 : ビジネスへの影響

W2 ビジネスへの影響

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



事業への影響・コンプライアンスの影響

W2.1

貴社はこれまでに、水関連の悪い影響を被ったことはありますか。（報告年中にかかわる）

はい

いいえ

W2.1a

貴社が被った水に関連する有害な影響、それへの貴社の対応、総合的な財務上の影響について具体的にお答えください。

W2.2

貴社は報告年に、水関連の規制違反を理由として罰金、法的命令、その他のペナルティを科されましたか。

「はい、罰金」または「はい、罰金、執行命令、その他の罰則はあるが、重大なものとみなされるものではありません。」

W2.2a

水関連の罰金の合計件数および総額をお答えください。

「はい、罰金」または「はい、罰金、執行命令、その他の罰則」

W2.2b

報告年に水関連の規制違反で科された重大な罰金、法的命令、その他のペナルティのすべて、およびその解決の計画について、具体的に説明してください。

「いいえ」または「わかりません」

End of module

W2 Business impacts／ビジネス（事業）への影響

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン

過去に経験した水関連問題（規制等を含む）による影響とそれに対する対応を回答します。事業への影響を認識することで今後の水リスクへの対応力が高まります。

W2.1 有害な水関連の影響がありましたか。

⇒Yesの場合、詳細を回答

国、流域、影響要因の種別、主要な影響要因、主要な影響、影響の詳細、
主要な対応、財務影響、対応の詳細

報告年中にかかわるものがない場合は「No」と回答

W2.2 報告年度に、水関連規制違反に対する罰金、執行命令、その他罰則の対象となりましたか？

⇒Yesの場合、詳細を回答（W2.2a、W2.2b）

罰金額、関連する施設の割合、罰金件数、国、流域など

W2 & W4 - ビジネスへの影響、リスクと機会

W2.1a、W4.2、W4.2a - 影響とリスクの要因

軽微な変更

- ▼ 選択肢の追加：緊急性と慢性の物理的影響・リスク要因を区別することで、企業が直面している水関連の課題をさらに理解できるようになりました。
- ▼ 新規および改訂されたドロップダウン選択肢：更新されたリストは、持続可能な事業活動に関するEU Taxonomyで特定されたリスクと一致しています。
- ▼ 実際にどの事例が物理的影響の中でも緊急性があるのか、あるいは慢性かについては、質問書ガイダンスに記載されていますので参考にご覧ください。

Type of impact driver	Primary impact driver
Select from: • Acute physical • Chronic physical • Regulatory • Reputation & markets • Technology	Select from: • Response drop-down options below table

物理的影響のリスク要因を「Acute physical（緊急性の物理的）」と「Chronic physical（慢性の物理的）」に分割。

モジュール3：手順

モジュール3 手順



Sector specific questions: 'W-CH3.1, W-CH3.1a, W-EU3.1, W-EU3.1a, W-FB3.1, W-FB3.1a, W-OG3.1, W-OG3.1a, W-MM3.2, W-MM3.2a, W-MM3.2b, W-MM3.2c'

W3.3

貴社では水関連のリスクの評価を実施していますか。

「はい、水関連リスクの評価が実施されています」

W3.3a

水関連のリスクの特定と評価の手続きとして最も当てはまるものを選択してください。

「いいえ、水関連リスクは評価されていません」

W3.3b

貴社の直接操業およびバリューチェーンの他の段階における水関連のリスクの特定、評価、それへの対応に用いている、貴社のプロセスを具体的に説明してください。

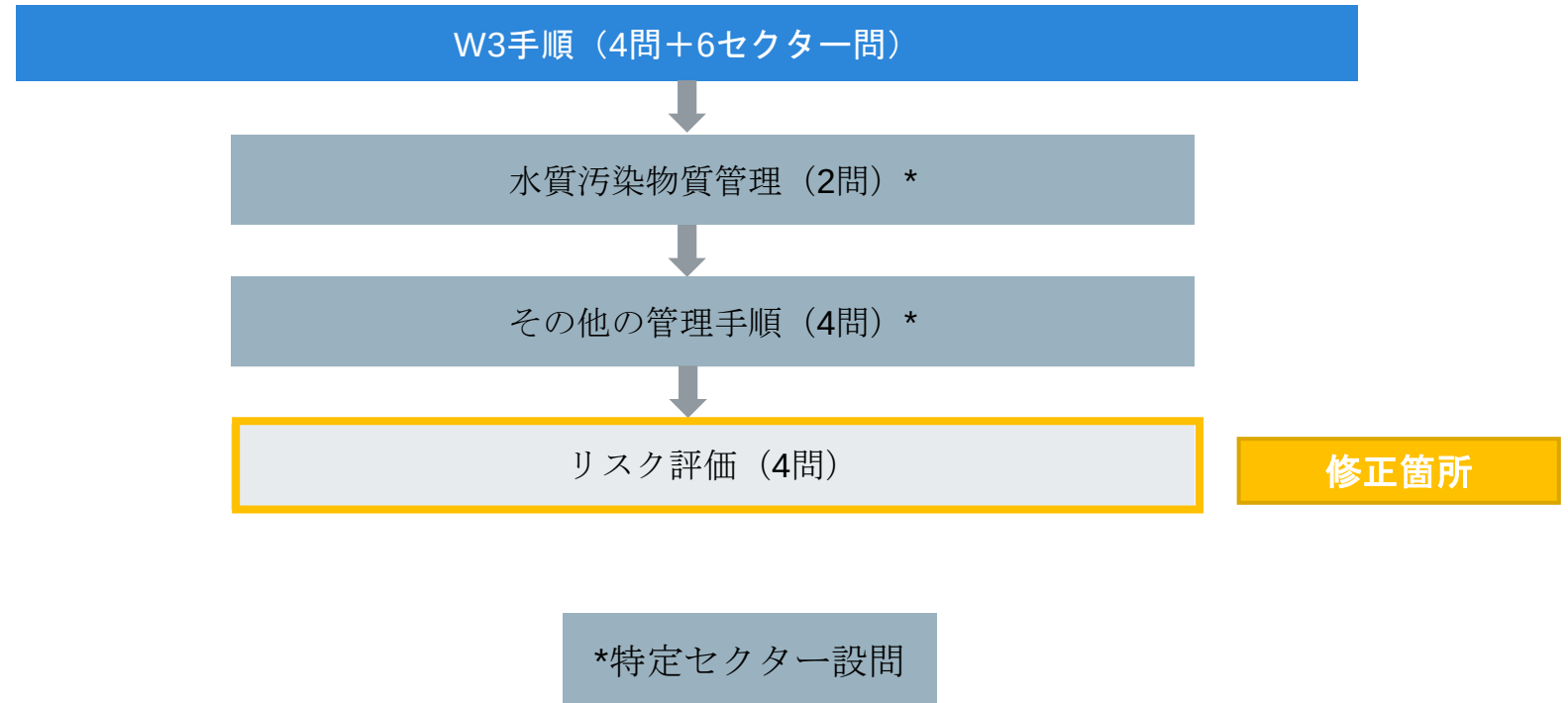
W3.3c

貴社が水関連のリスク評価を実施しないのはなぜですか。

End of module

W3 手順

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



W3 Procedures／手順

貴社の企業レベル、地域レベルでの水リスク管理手法を聞いています。

※W3.1、W3.2はセクター別質問のため割愛

W3.3 水関連リスク評価を実施していますか？

⇒Yesの場合、詳細を回答

- ①水リスク特定と評価の手続きの詳細(W3.3a)
- ②水関連のリスク評価で考慮されるものを回答(W3.3a)
流域/集水域における水の利用可能性
 - ・ 流域/集水域における水質
 - ・ 河川流域/集水地における水資源に関連したステークホルダー間対立
 - ・ 主要商品/原材料に対して水がもつ意味
 - ・ 水関連規制枠組み
 - ・ 生態系および動植物生息環境の状態
 - ・ 全従業員が、適正に機能し安全に管理された衛生施設を利用できること
 - ・ その他
- ③水関連リスク評価で考慮されるステークホルダーについて回答(W3.3a)
- ④直接操業およびバリューチェーンにおける水関連リスクの特定、評価、それへの対応に用いているプロセスの説明(W3.3b)

⇒Noの場合、リスク評価を実施しない理由を説明(W3.3c)

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン

W3 - 手順

(W3.3a) 水関連のリスクを特定・評価するための手順について、最も適切なものを選択してください。

修正箇所

ガイダンス追記一用語の新解説（規制機関）

報告の負担軽減のため

- ▼ 表の構成を変更し、バリューチェーンの各段階の手順を別々の行ではなく、まとめて報告できるように変わりました。
- ▼ ステークホルダーに関するW3.3bとコンテキストに関するW3.3cが削除され、本設問に統合されました。
- ▼ 「使用したツールと方法」の選択肢のリストを追加しました。

2021	2022	新規範	
Value chain stage	Value chain stage	Contextual issues considered	Stakeholders considered
Direct operations	Select all that apply:	Select all that apply:	Select all that apply:
	- Direct operations - Supply chain - Other stages of the value chain	- Water availability at a basin/catchment level - Water quality at a basin/catchment level - Stakeholder conflicts concerning water resources at a basin/catchment level - Implications of water on your key commodities/raw materials - Water regulatory frameworks - Status of ecosystems and habitats - Access to fully-functioning, safely managed WASH services for all employees - Other, please specify	- Customers - Employees - Investors - Local communities - NGOs - Regulators - Suppliers - Water utilities at a local level - Other water users at the basin/catchment level - Other, please specify
Supply chain			
Other stages of the value chain			

リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。



変更度合い：スコアリングの変更 - 全レベル

考慮した文脈上の問題	考慮したステークホルダー
該当するものをすべて選択: - 流域/貯水池レベルでの水利用可能性 - 流域/貯水池レベルでの水質 - 流域/貯水池レベルでの水源に関するステークホルダーの対立 - 主なコモディティ/原材料に関する水の関わり - 水の規制枠組み - 生態系と生息地の状況 - 全従業員のための適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスへのアクセス - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: - 顧客 - 従業員 - 投資家 - 地域社会 - NGO - 規制機関 - サプライヤー - 地方レベルでの水公益事業 - 河川流域/集水地におけるその他の水利用者 - その他、具体的にお答えください

新たな欄
(2021年質問書のW3.3b,cの項目)

バリューチェーン上の段階	対象範囲	リスク評
該当するものをすべて選択: - 直接操業 - サプライチェーン - バリューチェーン上のその他の段階	選択肢: - 全部 - 一部	選択肢: 以下のプダウン

リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択します。



変更度合い：スコアリングの変更 - 全レベル

認識採点基準

以下の選択肢

- [直接操業]
- [サプライチェーン]

が[バリューチェーン上の段階]欄で選択されている：

- i) [リスク評価手順]欄で、[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント
- ii) [評価の頻度]欄で、[未定義]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント
- iii) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で、[不明]と[1年以内]を除くいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント
- iv) [利用しているツールと方法の種類]欄で、いずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント
- v) ~~[利用しているツールと方法]欄で、[不明]を除くいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント~~
- vi) [考慮した状況に関わる問題]と[考慮したステークホルダー]の両方の欄でいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

注意：認識レベルで満点を獲得するには、[直接操業]と[サプライチェーン]の両方が報告されている必要があります。これは同じ行または別の行でも構いません。

↑直接操業・サプライチェーンどちらか一方しか報告されていない場合は、最大で3/6ポイントとなります。

リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択します。



マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

ポイントを獲得するには、以下の条件が満たされている必要があります：

[利用しているツールと手法]欄で、[社内的な方法]と[社外コンサルタント]の両方を除くいずれかの選択肢が選択されている
または
[利用しているツールと手法]欄で、[社内的な方法]と[社外コンサルタント]の両方が選択されている

注記：[社内的な方法]または[社外コンサルタント]と別の選択肢が選択された場合、回答に対してマネジメントレベルでポイントの獲得が可能です。

以下の選択肢

- [直接操業]
- [サプライチェーン]

が[バリューチェーン上の段階]欄で選択されている：

i) [対象範囲]欄で選択肢[全部]が選択されている - 0.5ポイント

ii) [リスク評価手順]欄のいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント

iii) [評価の頻度]欄で[年に複数回]または[年1回]のいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント

iv) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で以下の選択肢のいずれかが選択されている - 0.5ポイント：

- [1～3年]
- [3～6年]
- [6年より先]

注意：[直接操業]と[サプライチェーン]の両方が報告されている場合、この質問のマネジメントレベルで最大4ポイントを獲得可能です。

マネジメント要件をすべて達成するには、
2022年には、サプライチェーンのリスク
評価の範囲で「Full」を選択する必要があります。

初期の軽いタッチ段階の水リ
スク評価を実施していれば、
「フル」を選択いただけます。

2021年と
同じ

2021年と
同じ

リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。



変更度合い：新しい基準 - リーダーシップレベル

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている必要があります

[バリューチェーン上の段階]欄で選択肢[直接操業]が選択されている場合、以下の基準に対してポイントが付与されます：

- i) [考慮した背景上の課題]欄で以下の選択肢のすべてが選択されている - 1ポイント
 - [水の規制枠組み]
 - [生態系と生息地の状況]
 - [全従業員のための適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できること]
- ii) [考慮したステークホルダー]欄で以下の選択肢のすべてが選択されている - 1ポイント
 - [顧客]
 - [従業員]
 - [投資家]
 - [地域社会]

- iii) [対象範囲]欄で選択肢[全部]が選択されている、且つ
[どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で、[3～6年]または[6年より先]のいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

[バリューチェーン上の段階]欄で選択肢[サプライチェーン]が選択されている場合、以下の基準に対してポイントが付与されます：

- iv) [対象範囲]欄で選択肢[全部]が選択されている、且つ
[どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で、[3～6年]または[6年より先]のいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

修正内容

基準i)とii)が追加され、2つの新しい欄でスコアリングの選択ができるようになりました。

取得可能なポイントが1ポイントから3ポイントに増加

基準 iii) 及び基準 iv は変更なし。

リスクの特定と評価の手順



(W3.3b)貴社の直接操業およびバリューチェーンの他の段階における水関連のリスクの特定、評価、それへの対応に用いている、貴社のプロセスを具体的に説明してください。

変更度合い：スコアリング基準の変更 - マネジメントレベル

ここでは、リスク評価ツール（W3.3aで選択いただいたもの）に加え、それをつかってどの範囲で使用しているか、また、実施の選択したレベル（こういったリスクに関して例えば、それは水利用に関するリスクか、規制に関するリスクか、等）説明いただきます
W3.3a選択のリスク評価の選択肢については、選んだものすべてに対しなぜ含めているかについて何かしらの説明があることが望まれます

修正内容
冗長な2つの基準に代わり、新たに2つの基準（iii.およびiv.に変更が加わりました。

マネジメント採点基準

- i) 質問W3.3aの[利用しているツールと手法]欄でツールの利用が選択されている(対象範囲と実用的実施の選択したレベルを含む) - 1ポイント
- ii) リスク評価の結果を社内の意思決定プロセスにどのように活用しているか - 1ポイント
- iii) 質問W3.3aの[状況に関わる問題]欄で状況に関わる問題のそれぞれが選択された理由の説明が評価に含まれている - 1ポイント
- iv) 質問W3.3aの[考慮したステークホルダー]欄でステークホルダーのそれぞれが選択された理由の説明が評価に含まれている - 1ポイント

質問W3.3aの[利用しているツールと手法]欄で、以下の選択肢の1つだけが選択されている場合、マネジメントポイントを獲得するには、リスク評価と回答プロセスについての自社固有の詳細が記入されている必要があります：

- [社内的な方法]
- [社外コンサルタント]
- [国特有のデータベース、ツール、または規格]

2021 基準 iii)と iv)を削除した。

- iii) W3.3a のフル認識ポイント - 0.5 ポイント
- iv) W3.3bで4点以上、W3.3cで6点以上のマネジメントポイントを取得 - 1.5点

モジュール4：リスクと機会

W4.1a

W4.2

W4.2a

W4.3a

W4 リスクと機会 リスクエクスポージャー・水関連のリスクと対応

W4.1

貴社ではこれまで、事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある特有の水関連のリスクを特定したことがありますか。

W4.1a

貴社では、事業に及ぶ財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。

W4.1の選択肢で「はい」を選択した場合

W4.1で「いいえ」

W4.1b

貴社の施設のうち、事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水関連リスクをもつ施設は、合計でいくつありますか。
またそれは貴社の施設全体のどの程度の割合を占めますか。

W4.1c

河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性のある水関連リスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか、
また、これらの施設に関連する、事業への潜在的な影響とはどのようなもののでしょうか。

W4.1の「はい、直接操業とその他のバリューチェーンの両方ではい」または「はい、直接操業の中でのみ」。

W4.2

貴社の直接操業において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

W4.1の「はい、直接操業とそれ以外のバリューチェーンの両方において」または「はい、直接操業を超えたバリューチェーンにおいてのみ」のいずれかである

W4.2a

貴社の（直接操業以外の）バリューチェーンにおいて、事業に対し財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

W4.1の「いいえ」または「はい、直接操業を超えたバリューチェーンにおいてのみ」のいずれかである

W4.2b

貴社では、直接操業において、財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水リスクにさらされていないと考える理由は何ですか。

W4.1の「いいえ」または「はい、直接操業の中でのみ」のいずれかである

W4.2c

貴社では、バリューチェーン(直接操業を超える)において、財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水リスクに曝されていないと考える理由は何ですか。

W4 リスクと機会 水関連の機会

W4.3

貴社ではこれまで、事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水関連機会を特定したことがありますか。

「はい、機会を特定し、いくつかは実現しています」を選択

「機会はあるが、実現できていない」を選択した場合

「いいえ」を選択

W4.3a

貴社の事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある機会の実現方法について、具体的に説明してください。

W4.3b

貴社には水関連の機会がないと考えるのはなぜですか。

End of module

リスクと機会の把握はTCFDでも強く求められている内容です。
ここをしっかりと理解して開示することで、TCFD対応の道筋が見えてくることになります。

W4 Risks and opportunities／リスクと機会



2022年版モジュール

W0 導入

W1 現状

W2 ビジネスへの影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水の検証

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 定性的目標・定量的目標

W9 検証

W10 最終承認

SW サプライチェーン

直接操業・バリューチェーンにおける水問題を明確に認識していること、及びリスクへの対応方法や機会の活用について対外的にアピールできます。

《リスク》

W4.1 事業に財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連リスクを特定したことがありますか？

W4.1a 財務または戦略面での実質的影響をどのように定義しますか？

⇒W4.1がYesの場合、詳細を回答

①水関連リスクをもつ施設数とその割合

②水関連リスクをもつ施設数とその割合(河川流域毎)と事業への潜在的影響の詳細

⇒W4.1がNoの場合、その理由を回答(W4.2b、W4.2c)

W4.2 特定されたリスクと、それへの対応についての詳細の説明

《機会》

W4.3 事業に財政または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連機会を特定したことがありますか？

⇒Yesの場合、詳細を回答。Noの場合特定したことがない理由を回答

リスクエクスポージャー

(W4.1a)貴社では、事業に及ぶ財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。



変更度合い：スコアリングの変更 - 全レベル

情報開示スコアリング基準

回答を記述 - 1ポイント

ポイント配分が5から1に減少

認識採点基準

採点対象外

認識レベルでのスコアリングを削除

マネジメントレベルで合理化、一括化された基準
ほかのプログラムの統一化も背景にあります

マネジメント採点基準

表への記述内容：

i) 水関連のリスクを特定または評価する時の「重大な財務上または戦略的な影響」の定義、且つ、重大な財務上または戦略的な影響を定義するために使用された定量的指標の説明 - 2ポイント

リーダーシップスコアリング基準

採点対象外

マネジメント採点基準

重大な財務上または戦略的影響の詳細に以下の内容を記入することに対して、マネジメントポイントが付与されます：

- i) 財務上または戦略上実質的な影響の定義を記入 - 1ポイント
- ii) 実質的な変化の特定に使った方法、測定基準、指標 - 1ポイント
- iii) 実質的な変化を表す、測定基準/単位/指標の閾値または変化量 - 1ポイント
- iv) その定義は、直接操作もしくはサプライチェーンのいずれか、または両方に当てはまるものか - 1ポイント
- v) 考慮された重大な影響の少なくとも1つの事例 - 1ポイント

リーダーシップレベルでは基準が削除されました

リスクエクスポージャー

(W4.1c)

河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性のある水関連リスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか、また、これらの施設に関連する、事業への潜在的な影響とはどのようなもののでしょうか。



ガイダンス追記—新しい回答事例の追加

Example response

Country/Area	River basin	Number of facilities exposed to water risk	% company-wide facilities this represents	[Metals & mining only] Production value for the metals & mining activities associated with these facilities	[Electric utilities only] % company's annual electricity generation that could be affected by these facilities	[Oil & gas only] % company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities	% company's total global revenue that could be affected	Comment
UK	Thames	5	10%	N/A	N/A	N/A	30%	We have identified five distribution centres in the Thames river basin that are impacted by water risks in our value chain with the potential to have a substantive impact on our operations. These sites manufacture clothes with cotton sourced from our suppliers and are important for us because their continued functioning is key to ensuring business continuity at many of our retail sites. The percentage of our global revenue that could be affected is estimated and depends on a range of factors such as the impact type, magnitude and duration, as well as the unique nature of the knock-on impacts on our retail outlets from partial or full site closure.

水に関するリスクと対応



(W4.2/W4.2a) - 貴社の直接操業/貴社のバリューチェーン(直接操業を超える)において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的にお答えください。

変更度合い：スコアリングの変更 - マネジメント & リーダーシップレベル

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります

- i) [自社固有の内容]欄で、特定した影響が直接操業にどのように影響するかについての自社固有の詳細を含めている - 1ポイント
- ii) [財務上の潜在的影響額を回答することは可能ですか?]欄で、[いいえ、このデータはありません]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント
- iii) リスクに対処するために講じられた措置と実施の期間を基準にして、自社固有の対応戦略の説明が[対応の説明]欄に記入されている - 1ポイント

1行のみ採点されます

この質問では最大3ポイントを獲得できます。

- マネジメントレベルのポイント取得に認識ポイント満点が必要になりました（2021年は5ポイント以上が要件）。
- 基準 iii) を強化・明確化

ガイダンス追記—新しい用語解説

- ・ 緊急性物理的リスク
- ・ 慢性的の物理的リスク

採点方法の変更

マネジメントとリーダーシップのレベルでは、最も良い行だけが採点されます。例年は、すべての行が比例して採点されました。

* W4.3a 機会に関する設問にも適用されます。

水関連のリスクと対応

W4.2/W4.2a



貴社の直接操業/貴社のバリューチェーン(直接操業を超える)において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的にお答えください。

期間
選択肢: ● 現在から1年以内 ● 1～3年 ● 4～6年 ● 6年超 ● 不明

潜在的影響の程度	可能性
選択肢: ● 高い ● やや高い ● 中程度 ● 中程度～低い ● 低い ● 不明	選択肢: ● (ほぼ)確実 ● 可能性が非常に高い ● 可能性が高い ● 5割を超える確率で ● 可能性がおよそ5割 ● 可能性が低い ● 可能性が非常に低い ● 可能性が並外れて低い ● 不明

リスクは流域別にご回答ください。

いずれかの欄で「不明」を選択しても、この得点の対象にはなりません。

認識採点基準

記入した行の数に応じて、配点を各行に均等に配分し、認識ポイントが次のように付与されます:

- [国/地域]欄が記入されていて、且つ、[河川流域]で、[不明]を除く選択肢が記入されている - 1ポイント
- [リスクの種類]と[主なリスク要因]欄が記入されている - 1ポイント
- [主な潜在的影響]と[自社固有の内容]欄が記入されている - 1ポイント
- [期間]、[潜在的影響の程度]、および[可能性]欄で、[不明]を除くいずれかの選択肢が記入されている - 1ポイント
- [主な対応]と[対応の詳細]の欄が記入されている - 2ポイント

水関連機会

(W4.3a)貴社の事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある、現在実現しつつある機会について、詳細を説明してください



変更度合い：スコアリングの変更 - マネジメントレベル、リーダーシップレベル

- マネジメントとリーダーシップについては、最も良い行だけが採点されることを再確認してください。
- マネジメント基準 iii の明確化
 - W4.2a および W4.2a と同様に基準 iii を明確化し、回答の焦点をより明確にした。

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[自社固有の機会の説明と、機会実現の戦略]欄に以下の内容を記入している：

- i) この機会が企業にとって戦略的機会であるとする理由の説明 - 1ポイント
- ii) 機会を実現するために講じられている措置の説明 - 1ポイント
- iii) その成果と実施の期間を基準にして、機会を実現するために講じられた措置の例 - 1ポイント
- iv) [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか]欄で、[いいえ、このデータはありません]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

1行のみ採点されます

この質問では最大4ポイントを獲得できます。

モジュール5： 施設レベルの水会計

W5 Facility-level water accounting／施設レベルの水データ

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン

W4.1で水リスクにさらされている施設があると回答した場合にのみ表示されます。該当施設だけのデータを開示することで、水資源のホットスポットに焦点を合わせた水管理が可能となります。

W5.1 W4.1cで挙げた各施設について、地理情報、水データ、前年比較を回答してください

水源ごとの取水データ

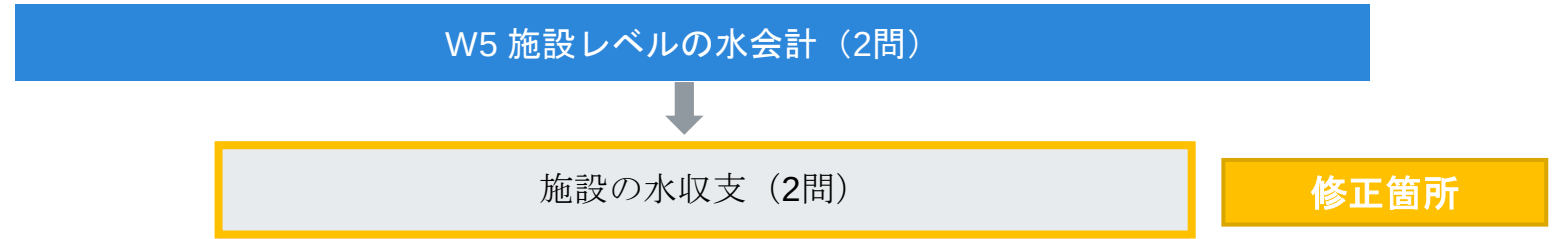
放流先別の排水量

5.1で報告する施設の数とW4.1cの施設数が一致していなければ、その点で評価されないご注意ください。

W5.1a 各施設について、外部の検証を受けている水データとその比率

W5 施設レベルの水収支

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



施設レベルの水会計

(W5.1) W4.1cで挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容を記入します。



変更度合い：明確化 - マネジメントレベル

変更の内容 施設数不一致の場合の採点方法の明確化 基準の意味するところに変更はありません 右記が主な例です	W4.1cで開示 された施設		W5.1で開 示した施設	W5.1 マネジメントレベル採点
	5	=	5	4ポイント獲得可能、全列に分配される
	10	>	5	4ポイントに施設比率を乗じ、全行で分割。 $4 * (5 \div 10) = 2$ マネジメントレベルに与えられるポイント リーダーシップレベルに与えられるポイントなし

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

報告した施設は、質問W4.1cで言及した施設と同じ施設である必要があります。質問W4.1cで報告した施設を質問W5.1で報告していない場合、最大マネジメントポイントは4に(施設W5.1での施設数) / (質問W4.1cでの施設数)を乗じたものになります。

質問W4.1cで開示したすべての施設の数に比例して、マネジメントポイントが最大4ポイント付与されます。

- i) 1つ以上の取水源について0以外の数字を記入した表の各行に対して、2/(質問W4.1cで示した施設の総数)のポイントが付与されます。
- ii) 1つ以上の排水放流先について0以外の数字を記入した表の各行に対して、2/(質問W4.1cで示した施設の総数)のポイントが付与されます。

これは、W5.1のMM、EU、OGの採点にも適用されます

W5 - 施設レベルの水収支



(W5.1a) W5.1で言及されている施設について、水会計データのどのような割合が第三者によって検証されていますか。

修正箇所

「外部」を削除し、「第三者」と表現が変更されました

▼ 質問文は、「第三者」による検証を指定するように修正され、「説明してください」欄が追加され、「検証」の定義が変更されています。高品質な水会計データを確保するためには、第三者による検証が不可欠です。

Water aspect	% verified	Verification standard used*	Please explain*
Water withdrawals – total volumes	Select from: • Not verified • 1-25 • 26-50 • 51-75 • 76-100 • Not relevant	Text field [maximum 1,500 characters]	Text field [maximum 2,500 characters]
Water withdrawals – volume by source			
Water withdrawals – quality by standard water quality parameters			
Water discharges – total volumes			
Water discharges – volume by destination			
Water discharges – volume by final treatment level			
Water discharges – quality by standard water quality parameters			
Water consumption – total volume			

新しい欄です。「説明してください」の項目が追加されました

※水会計データが検証されていない、または検証が関連していないと回答した企業のみ回答

ガイダンス追記一用語解説の追加（第三者検証）

施設レベルの水会計

(W5.1a) W5.1で挙げた施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。



変更度合い：スコアリングの変更 - 情報開示、認識、マネジメントの各レベル

変更の内容

情報開示と認識レベル

2021年の5ポイントから2022年の4ポイントに変更

マネジメントレベル

検証のインセンティブとなる基準として新たに導入

マネジメント採点基準

[検証率(%)]欄に選択肢[76～100]が記入されている以下の行それぞれに対して - 1ポイント

- [取水量 - 総量]
- [排水量 - 総量]
- [排水量 - 標準水質パラメータ別の水質]

その他の行 - 0/0ポイント

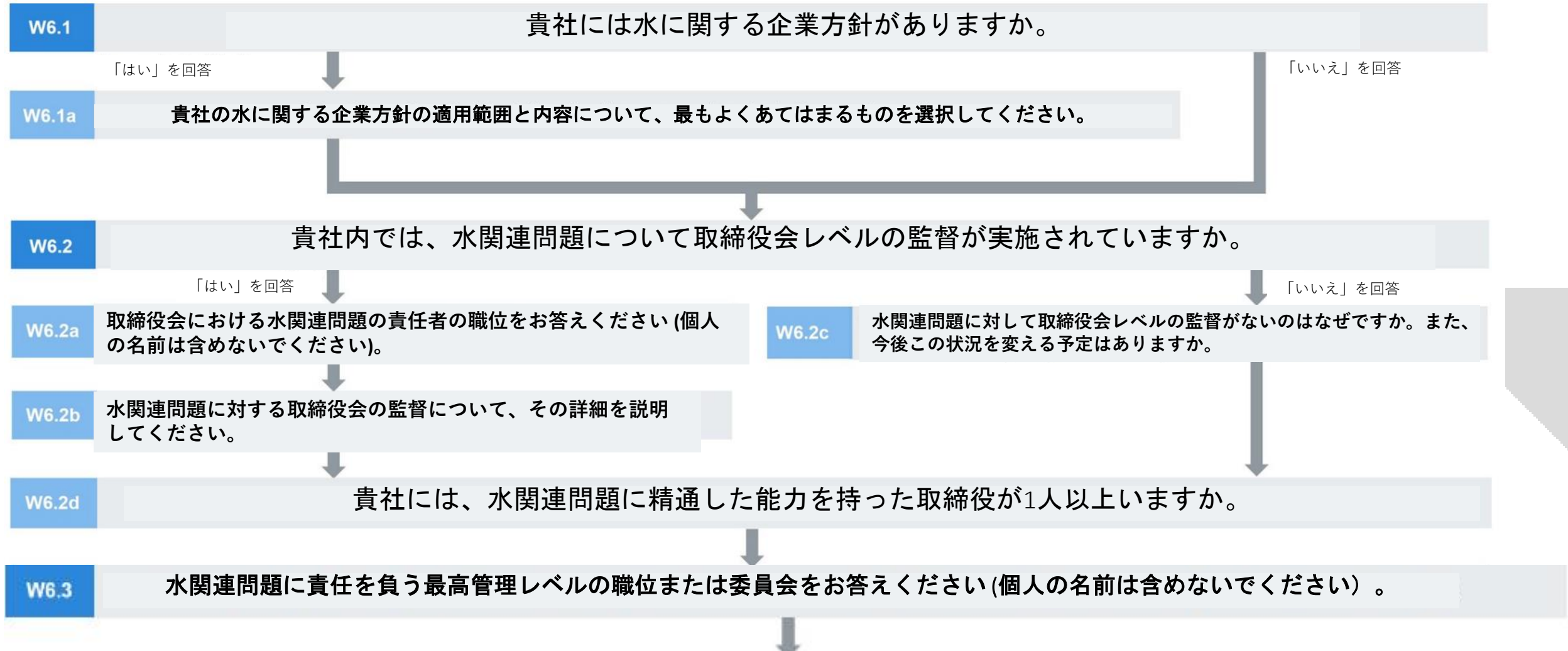
モジュール6：ガバナンス

W6 ガバナンス

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



W6 ガバナンス：水に関する企業方針取締役会の監督・経営責任



W6 ガバナンス：従業員インセンティブ・公共政策エンゲージメント

W6.4

水関連問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役インセンティブを付与していますか。

「はい」を回答

「いいえ」を回答

W6.4a

水関連問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役インセンティブを付与していますか(ただし個人の名前は含めないでください)。

W6.5

貴社では、水に関する公共政策に直接的または間接的に影響を及ぼしうる活動に、以下のいずれかを通じて関与していますか。

「はい」を回答

「いいえ」を回答

W6.5a

公共政策に影響を及ぼそうとする直接的および間接的活動のすべてが、貴社の水に関する企業方針/誓約に合致するものとなるよう、どのようなプロセスを実施していますか。

W6.6

貴社は、水関連のリスクへの対応に関する情報を直近の財務報告書に含めましたか。

End of module

水資源政策

(W6.1a)貴社の水に関する企業方針の適用範囲と内容について、最もよくあてはまるものを選択してください。

変更度合い：軽微な変更 - マネジメントおよびリーダーシップのレベル

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

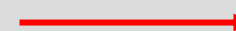
i) [内容]欄の各選択内容に対して - 0.5ポイント(最大3ポイント)

ii) [説明してください]欄に、方針が全社的にどのように適用されるかの説明が記入されている

且つ

[内容]欄で、方針内容の概要が選択されている - 2ポイント

ポイント付与を更新



明確化

取締役会の監督

W6.2a取締役会における水関連課題の責任者の職位を特定します(個人の名前は含めてないでください)

変更度合い：軽微な変更 - リーダーシップレベル

修正内容

リーダーシップ

- 決定例は、報告年度の最大2年前までとすることを明確化した。

ii) [説明してください]欄に、個人/委員会が行った水関連の意志決定の例を1つ以上記入している。(事例は報告年の2年以内のものである必要があります) - 1ポイント

1つ以上の行が情報開示されている場合、最初の行のみが採点されます。

W6 - ガバナンス

(W6.2d) 貴社には、水関連の問題に精通した取締役が少なくとも1名いますか。

新規設問

- 持続可能な未来に向けて事業を成功に導くためには、経験や知識等が必要です。水関連問題に精通した能力を取締役会レベルで持つことは、リスク、機会、影響を理解して対応するという企業のコミットメントを示すものです。
- 何をもって「精通している」能力を持っているとするかの明確な基準がないため、回答企業はこの評価のための基準を記述して説明してください。

Board member(s) have competence on water-related issues	Criteria used to assess competence of board member(s) on water-related issues*	Primary reason for no board-level competence on water-related issues*	Explain why your organization does not have at least one board member with competence on water-related issues and any plans to address board-level competence in the future*
Select from: • Yes • No, but we plan to address this within the next two years • No, and we do not plan to address this within the next two years • Not assessed	Text field [maximum 2,500 characters]	Select from: • Important but not an immediate priority • Judged to be unimportant, explanation provided • Other, please specify	Text field [maximum 2,500 characters]

取締役会の監督

W6.2d 貴社には、水関連問題に精通した能力を持った取締役が1人以上いますか。



変更度合い：新規設問

情報開示スコアリング基準

表示されたセルの数に比例して、記入したセルごとにポイントが付与されます。

この質問では最大3ポイントを獲得できます。

認識採点基準

認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

[取締役が水関連の問題に関する能力を持っています]欄で[はい]または[いいえ、しかし今後2年以内にこれに取り組む予定です]のいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[取締役が水関連の問題に関する能力を持っています]欄で選択肢[はい]が選択されている - 1ポイント

[取締役が水関連の問題に関する能力を持っています]欄で選択肢[いいえ、しかし今後2年以内にこれに取り組む予定です]が選択されている - 0.5ポイント

経営責任

W6.3 水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。

変更度合い：スコアリング基準の変更 - マネジメントレベル

新基準の詳細。

- 基準i)の変更は、ドロップダウンのスコアリング選択肢の変更を反映したものであり、意味するところは変わりません
- 個人の地位の記述を求める基準を削除
- *A description of nature of report...*を*A description of water-related topics that are reported...*に変更した。

マネジメント採点基準

i) [責任]欄で選択肢[水関連リスクと機会の評価]と[水関連のリスクと機会の管理]の両方の選択肢が選択されている - 1ポイント

[説明してください]欄に以下の内容が記入されている：

ii) 取締役会に報告される水関連のトピックの説明 - 1ポイント

iii) 選択した個人/委員会の水関連責任の詳細 - 1ポイント

1つ以上の行が情報開示されている場合、最初の行のみが採点されます。

W6 - ガバナンス



(W6.3) 水関連の問題に責任を持つ最高経営レベルの役職または委員会を提示してください（個人名は記載しないでください）。

修正箇所

■ 新たな回答項目として、水需要の将来的な動向を評価するための管理責任を示すことが可能となります。この選択肢の追加により、将来の水需要の動向を予測することの重要性を反映しています。

Name of the position(s) and/or committee(s)	Responsibility*	Frequency of reporting to the board on water-related issues*	Please explain
Select from: - There is currently no management-level responsibility for water-related issues - Chief Executive Officer (CEO) - Chief Financial Officer (CFO) - Chief Operating Officer (COO) - Chief Procurement Officer (CPO) - Chief Risk Officer (CRO) - Chief Sustainability Officer (CSO) - Other C-Suite Officer, please specify - President - Risk committee	Select all that apply: - Assessing future trends in water demand - Assessing water-related risks and opportunities - Managing water-related risks and opportunities - Other, please specify	Select from: - More frequently than quarterly - Quarterly - Less frequently than annually - As important matters arise - Not reported to board	Text field [maximum 1,000 characters]

新しい選択肢です。
水需要の将来的な動向を把握する

ガイダンス追記一用語解説の追加（水需要）

水需要・・・組織が事業目標や戦略目標を達成するために必要な水の量。

経営責任

(W6.3)水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。



変更度合い：スコアリングの変更 - リーダーシップレベル

(W6.3) 水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。

職位または委員会	責任*	水関連問題に関して取締役会に報告する頻度*	説明
選択肢: - 水関連問題に対して管理職レベルの責任者がいません - 最高経営責任者(CEO) - 最高財務責任者(CFO) - 最高執行責任者(COO) - 最高調達責任者(CPO) - 最高リスク管理責任者(CRO) - 最高サステナビリティ責任者(CSO) - その他の最高経営層、具体的にお答えください - 社長	該当するものをすべて選択: - 水需要の今後の傾向の評価 - 水関連のリスクおよび機会の評価 - 水関連のリスクおよび機会の管理 - その他、具体的にお答えください	選択肢: - 四半期に1回以上の頻度 - 四半期に1回 - 半年に1回 - 年1回 - 年1回より少ない頻度 - 重要な事案が生じたとき - 取締役会に報告なし	文章

新しいリーダーシップの基準 iii. ii) [責任]欄で選択肢水需要の今後の傾向の評価が選択されている - 0.5ポイント

役員へのインセンティブ

(W6.4a) 水関連の問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役にとどのようなインセンティブが付与されていますか(個人の名前は含めないでください)。

インセンティブの種類	インセンティブを得る資格のある役職	実績指標	説明してください
金銭的褒賞	該当するものをすべて選択: - 取締役会長 - 取締役会/執行役員会 - 取締役 - 会社重役チーム - 最高経営責任者(CEO) - 最高財務責任者(CFO) - 最高執行責任者(COO) - 最高調達責任者(COO) - 最高リスク管理責任者(CRO) - 最高サステナビリティ責任者(CSO) - その他の最高経営層 - その他、具体的にお答えください - このインセンティブが与えられている者はいない	該当するものをすべて選択: - 取水量の削減 - 消費量の削減 - 効率の向上 – 直接操業 - 効率の向上 – サプライチェーン - 効率の向上 – 製品使用 - 排水水質の改善 – 直接操業 - 排水水質の改善 – サプライチェーン - 排水水質の改善 – 製品使用 - 従業員認識キャンペーンまたはトレーニングプログラムの実施 - サプライチェーン・エンゲージメント - 職場の上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できる機会増加 - 水関連の地域社会プロジェクトの実施 - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大1,500文字]
非金銭的褒賞			

インセンティブが金銭的、あるいは非金銭的の一方しかない場合も
両行選択肢の選び漏れ、説明してください部分の空白がないように
 してください。(認識レベル)

ポリシーエンゲージメント

(W6.5a) 公共政策に影響を及ぼそうとする直接的および間接的活動のすべてが、貴社の水に関する企業方針/コミットメントに合致するものとなるよう、どのようなプロセスを実施していますか。

W6.5a - 採点基準

情報開示採点基準

文字入力欄を記入することに対して、情報開示ポイントが2ポイント付与されます。

認識採点基準

採点対象外

マネジメント採点基準

以下の情報を記入することに対して、マネジメントポイントが付与されます:

- i) 一貫性を確保するプロセスを説明 - 1ポイント
- ii) 矛盾が見つかった場合に講じられる措置の説明 - 1ポイント

リーダーシップ採点基準

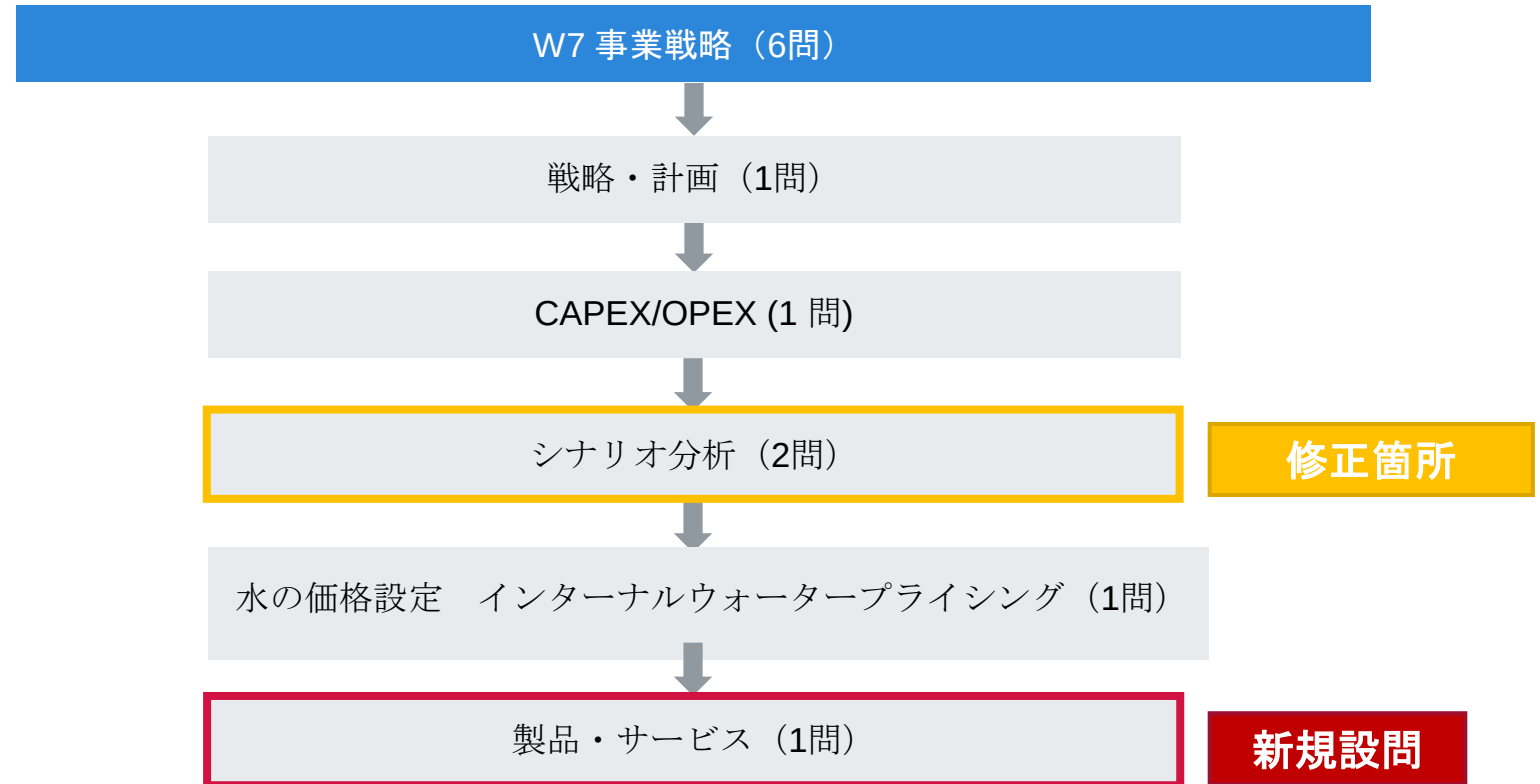
採点対象外

- ▶ 貴社活動と貴社方針や誓約に不整合がないことを説明する設問です。
- ▶ 経済団体との関連性があるだけでは、公共政策との関連性の説明が不十分なのでお気を付けください

モジュール7：事業戦略

W7 事業戦略

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



W7 事業戦略 戦略プラン・設備投資 (CAPEX)/操業費 (OPEX)・水プライシング

W7.1

水関連問題は、貴社の長期的・戦略的事業計画のいずれかの側面に組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。

W7.2

報告年における貴社の水関連の設備投資費 (CAPEX) と操業費 (OPEX) の傾向と、次報告年に予想される傾向をお答えください。

W7.3

貴社では、シナリオ分析で得られる情報を事業戦略に利用していますか。

「はい」を回答

「いいえ」の回答を選択した場合

W7.3a

シナリオ分析で確認された水関連の分析結果はどのようなものですか。また、貴社はどのように対応しましたか。

「はい」を回答

W7.4

貴社では、水に対して内部的価格付け（水プライシング）を実施していますか。

W7.5

貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

End of module

経営責任

W7.1 貴社の長期的・戦略的事業計画のいずれかの側面に水関連問題が組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。



変更度合い：スコアリングの変更 - マネジメントとリーダーシップのレベル

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

各行に対して、ポイントを獲得するには、以下の条件が満たされている必要があります：

[水関連の問題が組み込まれていますか?]欄で[はい、水関連の問題が組み込まれている]が選択されている
且つ

回答文が、選択した長期時間軸と一致している

[説明してください]欄に以下の内容が記入されている：

i) 特定した水関連の問題を戦略的事業計画の各側面に統合するために講じられた措置の例 - 1ポイント

明確化

マネジメント基準を削除

~~i) どの水関連問題を統合しているか - 1ポイント~~

修正内容

マネジメント

- 2021年版スコアリング基準の基準i)が削除された。
- 残りの基準を明確化
- 利用可能なポイント数が6から3に減少

リーダーシップ

- リーダーシップの採点にマネジメントの満点が必要になりました。

年数の選択については、長期的な事業目的／長期的目標達成のための戦略／財務計画が過去に策定等された年を起点としてみなすことが可能です。（報告年に関連していることが求められます）

W7 - ビジネス戦略



(W7.3) 貴社では、ビジネス戦略にシナリオ分析を活用していますか。

(W7.3a) シナリオ分析の詳細、水に関連するどのような結果が特定されたか、そしてそれらが貴社のビジネス戦略にどのように影響したかを示してください。

修正箇所

- ▼ 「気候関連」のシナリオ分析に焦点を当てていたが、これを削除しました。
- ▼ W7.3aの設問では、使用したシナリオ分析の種類、シナリオ分析の詳細、水関連の結果がビジネス戦略にどのように影響したかを報告する欄を新たに設けました。

Type of scenario analysis used	Parameters, assumptions, analytical choices	Description of possible water-related outcomes	Influence on business strategy
Select all that apply: - Water-related - Climate-related - Socioeconomic - Land-use change - Other, please specify	Text field [maximum 2,500 characters]	Text field [maximum 1,500 characters]	Text field [maximum 1,500 characters]

シナリオ分析の種類の
選択欄が追加

シナリオ分析

W7.3a

シナリオ分析の詳細、どのような水関連成果を特定したか、そして貴社組織の事業戦略にどのように影響を及ぼしたかについて説明してください。

情報開示スコアリング基準

回答記入した各セルにつき - 1ポイント

認識採点基準

記入済の表1つにつき - 1ポイント

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

i) [想定される水関連の分析結果の詳細]欄に、将来のシナリオに関連する水関連影響を、可能性のあるもの、高いもののいずれかを問わない自社固有の説明が記入されている - 1ポイント

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

[事業戦略への影響]欄に以下の内容を記入している：

i) 述べられた水関連結果に対する事業対応または戦略的対応の説明 - 0.5ポイント

ii) 貴社の対応に関して予想されるスケジュール - 0.5ポイント

■ 水関連(Water-related outcome)の部分でシナリオ分析について自社固有の説明をしてください。

W7 - ビジネス戦略



(W7.5) 貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響が少ないものはありますか。

新規設問

- ▼ バリューチェーンの生産や使用の段階で製品の水の影響を減らすことは、水の安全な未来への移行を早めることになります。この質問は、投資家やその他のデータ利用者に、企業がこれに向けて取っている行動を知らせるものです。
- ▼ 本設問では、「水の影響が少ないもの」というのは水への有害な影響が市場の標準値よりも低いもの、または企業の従来の製品・サービスよりも低いものと定義しています。
- ▼ 低水負荷の製品やサービスを構成する共通の定義がないため、企業は製品やサービスを低水負荷に分類するための基準や閾値を説明することが求められています。

Products and/or services classified as low water impact	Definition used to classify low water impact*	Primary reason for not classifying any of your current products and/or services as low water impact*	Please explain
Select from: • Yes • No, but we plan to address this within the next two years • No, and we do not plan to address this within the next two years	Text field [maximum 5,000 characters]	Select from: • Important but not an immediate business priority • Judged to be unimportant, explanation provided • Lack of internal resources • No instruction from management • Other, please specify	Text field [maximum 1,000 characters]

製品・サービス

W7.5 貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。



変更度合い：新規設問

(W7.5) 貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

水資源の影響が少ないと分類した製品および/またはサービス	水資源の影響が少ないと分類するために使用した定義*	貴社の最新製品および/またはサービスが水資源への影響が少ないと分類しない主な理由*	説明してください
選択肢: - はい - いいえ、しかし今後2年以内に取り組む予定です - いいえ、また今後2年以内にこれに取り組む予定もありません	文章入力欄 [最大5,000文字]	選択肢: - 重要だが、差し迫った事業上の優先事項ではない - 重要でないと判断し、理由も説明 - 社内リソースの不足 - 経営陣から指示がないため - その他、具体的にお答えください	文章入力欄 [最大1,000文字]

情報開示と認識レベルのみで採点

変更の理由
本設問は新規のため、2022年ではライトタッチの情報開示と認識レベルでの採点となります。

モジュール 8 : 定性的・定量的目標

W8 目標

W8.1

水関連の定量的目標及び／もしくは定性的目標を、どのように設定・モニタリングしているかについて説明してください。

2段目で「定量的目標を企業レベルでモニタリングしています」

W8.1a

企業レベルでモニタリングし、進捗が見られる水の定量的目標について具体的に説明してください。

2段目で「定性的目標を企業レベルでモニタリングしています」

W8.1b

企業レベルでモニタリングし、進捗がみられる水の定量的目標とその進捗状況の詳細を提供してください。

1段目で「弊社は定量的・定性的目標を掲げていません」を選択

W8.1c

水関連の定量的目標もしくは定性的目標がないのはなぜですか。また、今後設定する計画はありますか。

End of module

W8 Targets／目標

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン

水関連の定量的目標や定性的目標を回答することで、貴社の水管理の進展を示せます。

W8.1水関連の目標や目的を、どのように設定・モニタリングしているか説明してください。

⇒全社レベルで定量的目標(Target)をモニタリングしている場合、詳細を回答(W8.1a)

⇒全社レベルで定性的目標(Goal)をモニタリングしている場合、詳細を回答(W8.1b)

⇒目標も目的も設定していない場合、その理由と今後の計画を回答(W8.1c)

英語解釈のヒント

Target・・・定量的目標

Goal・・・定性的目標

目標が整合する外部の枠組みやイニシアチブがある場合はその名称を開示に含めていただくことが望ましいです

W8 Targets／目標

W8.1b は定性的な目標である必要がありますが、成功判断のための指標は定量的なもの、あるいは何かしらの有無での判断など、第三者が見ても判断できる評価方法としてください



2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン

W8.1a、b 定量的目標 (Target) と定性的目標 (Goal) の詳細

報告年において有効 (active) な目標のみスコアリングされる

有効 (active) の定義: Start year must not be before baseline year, target year follows both, target year is no earlier than the reporting year. (開始年は基準年より前であってはならず、目標年は両方に続き、目標年は報告年より前であってはならない。)

例 1)

-Reporting year: 2022
 -Baseline year: 2020
 -Start year: 2020
 -Target year: 2024

例 2)

-Reporting year: 2022 (報告年)
 -Baseline year: 2020 (基準年)
 -Start year: 2021 (開始年)
 -Target year: 2022 (目標年)

(W8.1a)

基準年 (Baseline year)	開始年 (Start year)	目標年 (Target year)

(W8.1b)

基準年 (Baseline year)	開始年 (Start year)	終了年 (End year)

(W8.1b) 企業レベルでモニタリングされる貴社の定性的目標と、なされた進捗を具体的にお答えください。

定性的目標(1番目の列)

職場での安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できる機会の提供 地域社会での安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できる機会の提供 地域社会との協働 製品影響を最低限に抑える手助けをするための顧客との協働 持続可能な水管理と政策を前進させるための公共政策策定者とのエンゲージメント サウォータースチュワードシップを向上させることを手助けするためのブライヤーとのエンゲージメント	供給製品の水関連の影響を軽減するためのサプライヤーとのエンゲージメント 持続可能な農業活動の推進 河川流域の改善、生息環境復元、および生態系保全 水データの透明性の推進 使用段階での製品の環境影響を軽減する 準拠要件を超えて廃水水質を改善する その他、具体的にお答えください
---	---

W8.1aは水関連の目標を定量的に持っていなければならないことに対し、W8.1bは水以外の指標も使える、水関連の定性的な目標を記載いただきます。

たとえば、水をきれいにするために植林して、植林の何本植えたかで成功を図るとかは、W8.1bでも問題ないです。アンケートの回答率等も指標になりえます。

モジュール9：検証

W9 検証

W9.1

CDP情報開示で報告する（W5.1aの対象を除く）その他の水情報について、検証を実施していますか。

「はい」を回答

「はい」以外の回答

W9.1a

貴社のCDP開示の中ではどのデータポイントを検証しましたか。また、どのような基準を使用しましたか。

End of module

W9 Verification／検証

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン

水関連のデータポイントの外部検証を受けている場合、それを示すことで貴社回答への信頼性が向上します。

W9.1 CDPで情報開示するその他の水関連情報について外部検証をうけていますか(W5.1dで回答したものを除く)？

⇒Yesの場合、詳細を回答

検証基準

- AA1000AS
- ASAE3000
- ISAE3000など

モジュール 10 : 承認

W10 承認

W-FI

この欄に、貴社の回答に関連すると考えられる追加情報や背景事情を記入してください。この欄は任意で、採点されないことにご注意ください。

W10.1

このCDP水セキュリティ質問書への回答を最終承認する者に関する詳細を記入してください。

W10.2

影響およびリスク対応戦略に関して貴社が公的に開示したデータをCDPがCEO ウォーターマンデートのウォーターアクションハブに転送することに同意いただけるかどうかを示してください[W2.1a(影響への対応)、W4.2とW4.2a(リスクへの対応)のみに当てはまります]。

End of module

セクター別質問変更点

セクター別コンテンツ

▼ 質問書変更なし

5セクター

エネルギー

- 石油・ガス (O&G)
- 電気事業(EU)

マテリアル

- 化学(CH)
- 金属・鉱業 (MM)

農業・土地利用

- 食品・飲料・たばこ (FBT)



水原単位



W-X1.3a 全セクター向け：セクター固有の水原単位に関する設問

製品重量/容量でみた貴社の上位5製品について、●●セクターでの貴社の活動に関連する以下の水量原単位情報をご提供ください。

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

次のように開示された行の数に比例して、行ごとにポイントが付与されます：

[説明してください]欄に：

- i) 前報告年からの量の変化/無変化の理由を説明 - 1ポイント
- ii) 評価基準の内部的な利用法 - 1ポイント
- iii) 水原単位についての今後の予想される傾向を説明 - 1ポイント

この質問では最大3ポイントを獲得できます。

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

次のように開示された行の数に比例して、行ごとにポイントが付与されます：

- i) [説明してください]欄に水原単位の削減のために実施している戦略に関する詳細。

この質問では最大1ポイントを獲得できます。

変更度合い：軽微な変更 - マネジメント リーダーシップレベル

マネジメント

- フル認識ポイントが採点要件として必要になりました

リーダーシップ

- フルマネジメントポイントが採点要件として必要になりました

ガイダンス追加事項

新しい回答事例の追加

(W1.2)水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

(W1.2j) 貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

(W4.1c)河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性のある水関連のリスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか。また、これらの施設に関連する、事業への潜在的影響とはどのようなものですか。

用語の新解説

(W3.3a) 貴社は水関連のリスク評価を行っていますか。

- 規制機関

(W4.2)) 貴社の直接操業において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

- 緊急性物理的リスク
- 慢性的の物理的リスク

(W5.1a) W5.1で言及されている施設について、水会計データのうちのどのくらいの割合が第三者検証を受けていますか。

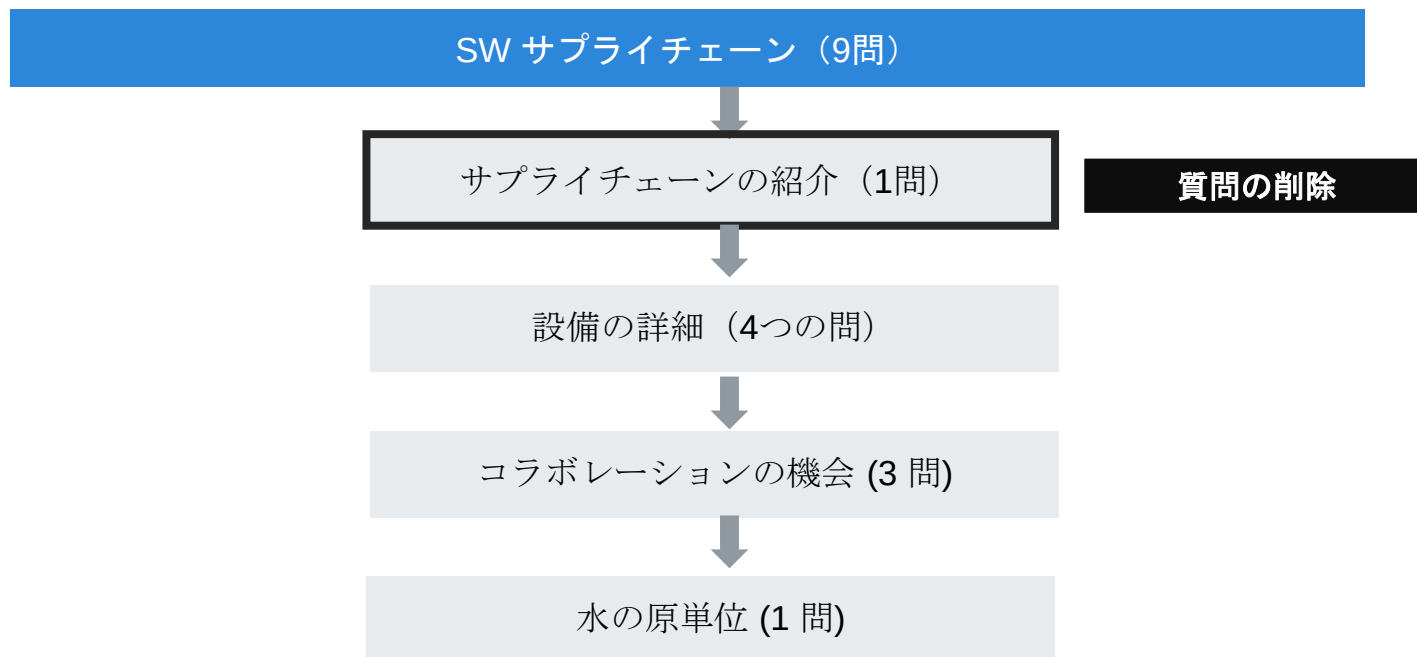
- 第三者検証

(W6.3)水関連問題に責任を負う最高管理レベルの職位または委員会をお答えください(個人の名前は含めないでください)。

- 水需要

SW - サプライチェーン

2022年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 最終承認
SW サプライチェーン



▼ サプライチェーンモジュールでは、ISIN識別番号に関する2つの質問が削除されました。これは、この選択肢が導入モジュールでカバーされるようになったためです。

参考情報・資料

変更点 水セキュリティ質問書2022



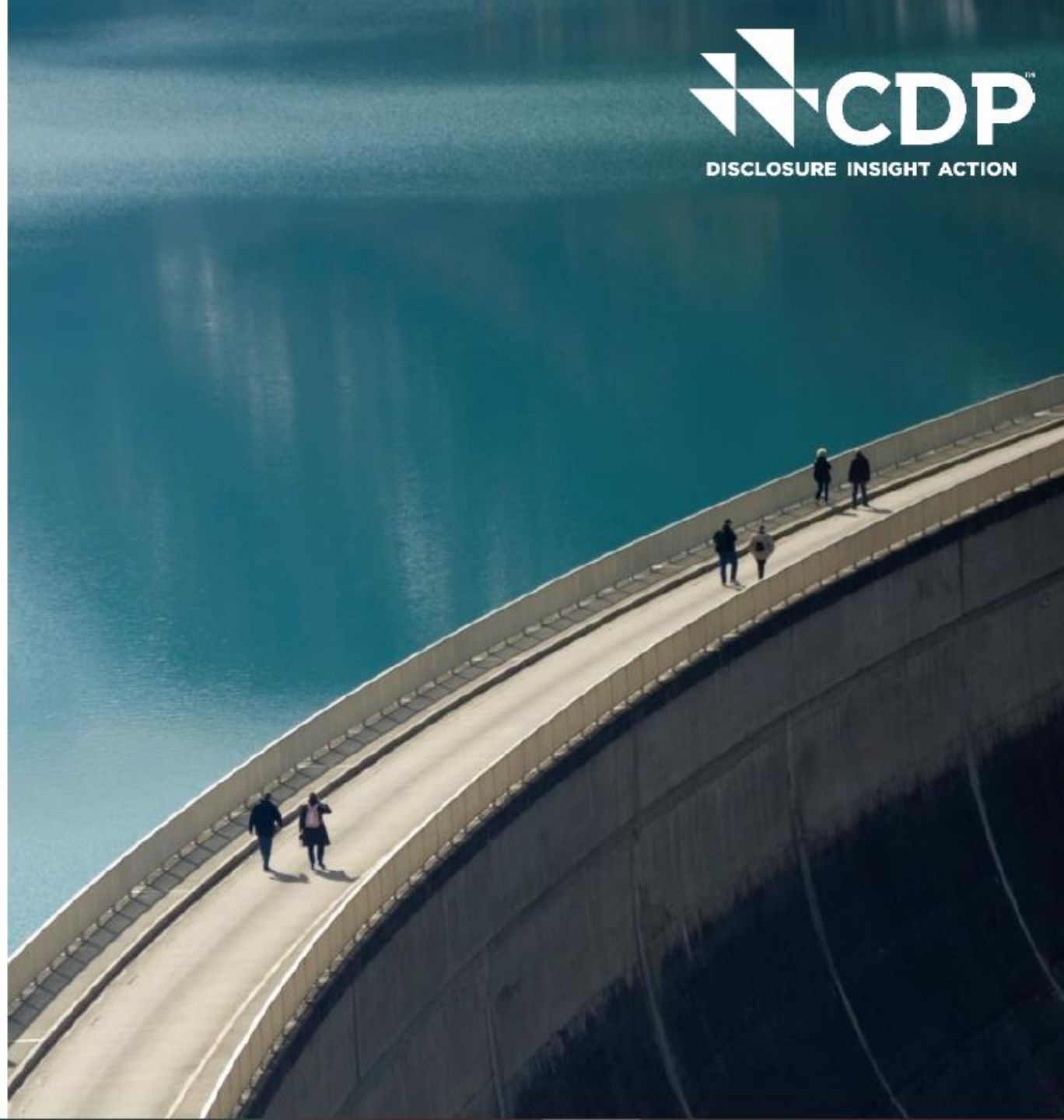
- ▼ 質問書変更点の全体について記載されている詳細なリストについては下記をご参照ください。
“*CDP Question Changes and Map: 2021 to 2022*” published on [the guidance page of CDP website](#).
- ▼ 主な変更点の概要 - モジュールごと
- ▼ 日本語版の変更点概要は[こちら](#)



民間企業の気候変動適応ガイド

— 気候リスクに備え、勝ち残るために —

- 環境省作成
- CDPウォーター質問書の回答データを分析
- https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/guide/index.html



CDP2022年回答のスケジュール

※公開時期などについては今後変更となる可能性があります



1月

- ・ 2022年質問書・ガイダンスの公表

3月14日の週

- ・ 2022年スコアリング基準の公表
- ・ 正式な回答要請レターの送付

4月11日の週

- ・ 2022年オンライン回答システム (ORS) のオープン

3～6月

- ・ ライブウェビナーの開催
／オンデマンドウェビナーの公開
- ・ 資料の日本語版公開(4月末-5月頃)

7月27日

- ・ 回答の提出×切 ※期日後に提出された回答は評価対象外となります。

秋

- ・ 回答の公開 ※要請元に回答が提供されます。

冬

- ・ スコアの公表

CDPが提供している主な資料(リンク集)

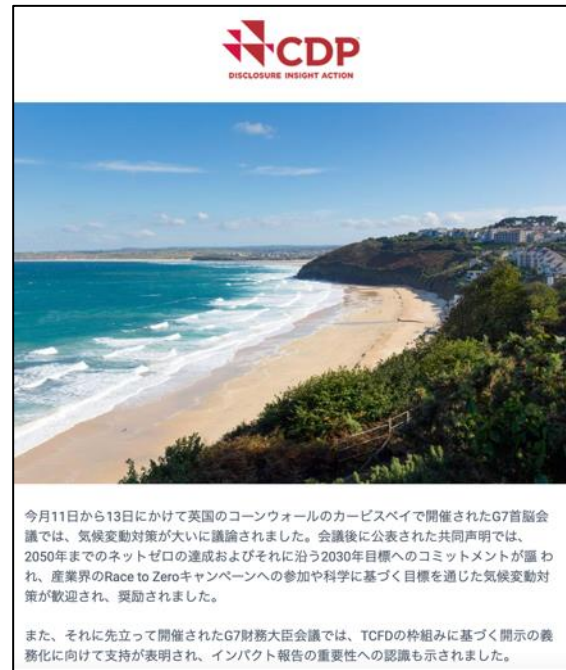
- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)

CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

ご登録フォーム





CDP Worldwide-Japan

Address:東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



www.cdp.net/ja/japan(日本語サイト)



問い合わせ先代表: japan@cdp.net

SBT

RE100

CDPレポーターサービス

CDPサプライチェーンプログラム

メディア関係

回答事務費用の原本発行依頼

sbt.japan@cdp.net

re100.japan@cdp.net

reporterservices.japan@cdp.net

supplychain.japan@cdp.net

press.japan@cdp.net

accounts.japan@cdp.net